



天童市立図書館 リノベーション基本計画

令和6年3月
天童市教育委員会

目 次

1	リノベーション計画策定の背景	1
2	基本コンセプト	2
3	リノベーションの指針	3
	(1) 子どもも大人も誰もが心地よい	3
	(2) 人と人がつながる	3
	(3) まちとつながり広がる	3
	(4) それぞれの課題に向き合い支え合う	4
	(5) 歴史を継承し未来につなげる	4
4	施設整備の方針	5
	(1) 規模について	5
	(2) 各部門の整備方針	5
	(3) ICTの活用	7
	(4) 想定スケジュール	7
5	長寿命化の方針	8
【参考資料】		
検討経過		
1	関係者ヒアリング報告	16
2	デザイン会議報告	30
3	基本計画策定懇話会報告	34
4	アンケート集計結果	36

1 リノベーション基本計画策定の背景

天童市立図書館は、昭和48年に、それまで市庁舎として使用されていた現在の旧東村山郡役所資料館を利用して開館し、昭和58年7月に現在地に移転建築されました。昭和62年には、気楽な親しみのあるたたずまいや全体の構成、ガラス開口部を多用した開放感のある明るく気持ちのよい室内空間が評価され、日本図書館協会による建築賞・優秀賞を受賞しています。

蔵書数は、昭和48年当初3,000冊程度でしたが、昭和58年の移転建築の際には、約50,000冊を目指して市民一冊献本運動なども実施されました。現在の蔵書数は約200,000冊となっています。

しかし、建築から40年が経過したため、最近では設備等の老朽化が進んでいます。建物の構造は、一部鉄骨造を含む鉄筋コンクリート造のため、今後40年程度の耐久性はあると想定されますが、計画的な修繕が必要な状況です。

また、図書館を取り巻く状況も建築当時とは大きく変化しています。これまで図書館が担ってきた主な役割は資料の収集や保存、整理、提供といったサービスでしたが、近年では課題解決や滞在・交流を掲げる図書館が各地で注目を集めています。

さらに、ここ数年で、図書館サービスのICT化が急速に進み、新型コロナウイルスによる新たな生活様式への取り組みによって、求められるニーズも変化してきました。

現在の図書館は、長年、多くの市民に親しまれ育まれてきた施設です。

周辺には市美術館や市民文化会館、公園などがあり、市の文化ゾーンに位置しています。今後も図書館のよい部分を残しつつ、市民が求める利便性を高め、さらなる活性化や新たな付加価値の創造を実現するため、市立図書館のリノベーションを実施していきます。

2 基本コンセプト

リノベーション後の図書館の基本コンセプトを

「人とまちと時をつなぐ わたしの図書館」

とします。

これまでの図書館の持つ資料の収集、保存、整理、提供といった役割を充実させつつ、リノベーション後の図書館は、利用者一人一人に寄り添いながら、様々なつながりを生み出し育むことのできる図書館を目指します。

人をつなぐ図書館

- ・本と人をつなぐだけではない、人と人、人と情報をつなぐ場所
- ・市民一人一人が持っている知や個性、経験をつなぎ、新たなつながりを生み出す場所
- ・性別や年齢、役職、障がいなどにとらわれず、みんなに開かれた誰もが居やすい場所

まちをつなぐ図書館

- ・図書館だけに留まらず、隣接する美術館や公共施設、周辺の温泉街へとつながることができる場所
- ・市の豊かな農業、工業などの産業に触れる場所
- ・図書館を核としてまちづくりの輪が広がる場所

時をつなぐ図書館

- ・過去、現在、未来の情報の宝庫である本との新たな出会いとなる場所
- ・市の歴史や文化、伝統を未来へ継承する場所
- ・新たな創造や自己の発見、新たな産業を生み出すきっかけを生み出し、未来を拓く場所

わたしの図書館

- ・自分の図書館と思えるような、一人一人にとって居心地のよい場所

わたしにとって居心地のよい場所はみんなにとってもとびきり居心地のよい場所

その時、わたしの図書館はみんなの図書館に

3 リノベーションの指針

基本コンセプトの実現に向けて、以下に掲げる5つの指針に基づいて、リノベーションを行います。

(1) 子どもも大人も誰もが心地よい

オープンで親しみやすい雰囲気づくりに努め、子どもの成長を支え応援する機能の充実と幅広い世代に居心地のよい居場所を提供します。

- ・ 児童図書の充実や読み聞かせ事業の推進
- ・ 気兼ねなく親子で過ごせる場の提供
- ・ 静かに本と向き合える場の提供
- ・ 一人一人がお互いの気持ちを思い合えるようなルールづくり
- ・ 設備、機能のバリアフリー

(こどもスペース、ラウンジスペース、サイレントスペース、屋外テラススペースなど)

(2) 人と人がつながる

図書館は本を借りるだけの場所ではなく、人と人をつなぎ、新たなつながりを生み出す場所にもなります。図書館という場をとおして、利用者同士の交流を促すような仕組みづくりを行います。

- ・ 自然と会話が生まれるような空間や導線づくり
- ・ イベントなどをとおして情報交流ができる場の提供
- ・ 文化や芸術作品に触れることで人の輪が広がるような場の提供

(こどもスペース、ラウンジスペース、会議室／多目的スペース、カフェ、屋外テラススペースなど)

(3) まちとつながり広がる

隣接する美術館や徒歩圏内にある温泉街、市内企業などとの交流や連携が育まれるような空間づくりを行います。また、図書館とまちをつなぐ小さな拠点として、図書館が自らまちに繰り出す仕掛けづくりを行っていきます。

- ・ 美術館など文化施設の情報提供
- ・ 観光情報の提供
- ・ まちの産業や取り組みの紹介
- ・ 移動図書館の充実

(会議室／多目的スペース、屋外テラススペース、移動図書館など)

(4) それぞれの課題に向き合い支え合う

利用者一人一人の学びのスタイルに合わせた居場所づくりを行っていきます。

- ・多様化する利用者のニーズに対応した、幅広くバランスのとれた資料の収集と読書要求に応えられる資料の充実
- ・新たな知識の発見や創造を促す情報の提供
- ・中高生の学びや職業選択などの将来設計をサポートする場の提供
- ・市民生活の課題や市内企業の支援に役立つ情報の提供
- ・レファレンスサービスやレフェラルサービスの充実

(開架スペース、ティーンズスペース、ラウンジスペース、会議室／多目的スペースなど)

(5) 歴史を継承し未来につなげる

市の歴史や文化を伝え、郷土への関心や愛着を育む空間づくりを行います。

- ・地域資料の収集と紹介
- ・市が輩出した著名人に関する展示や将棋コーナーなど、市の歴史や文化を紹介し、次世代につなげる取り組み

(開架スペース、ICTの活用など)



リノベーションの基本コンセプトと指針

4 施設整備の方針

(1) 規模について

リノベーション後の図書館の延べ床面積は、建物を一部増築し、現在の図書館（1,967 m²）よりも900 m²広い、約2,870 m²を想定します。

また、収蔵可能な蔵書数は、約24万冊（開架12万冊／閉架12万冊）程度とします。

(2) 各部門の整備方針

リノベーションでは、以下の部分を拡充します。

開架スペース

- ・12万冊を目標に、蔵書の充実を図ります。
- ・日本十進分類法に加えてテーマ配架の導入を検討し、新たな利用者層の拡大を目指します。
- ・利用者が自分の居場所としてくつろげる空間づくりを目指します。
- ・適度な会話を許容することで、誰もが利用しやすい空間を目指します。
- ・利用者の視線が交錯しないよう配慮し、パーソナルスペースを守れる環境づくりに努めます。
- ・地域資料の紹介や、市が輩出した著名人に関する展示、将棋コーナーなどを設けます。

こどもスペース

- ・子どもたちが楽しく本に出会うきっかけとなる図書館を目指します。
- ・子育て世代が利用しやすい環境づくりに努めます。
- ・読み聞かせやプレイルームなど、読書の楽しさを子どもたちに伝えるための空間を設けます。

ティーンズスペース

- ・中高生向けのテーマ配架を設置し、読書への興味や関心を持つきっかけづくりを行います。
- ・中高生の居場所となる会話やグループ学習が可能なスペースを設けます。

ラウンジスペース

- ・ゆったりとした席や、明るく開放的な空間演出により、会話やコミュニケーションがとりやすい居場所を設け、誰もが図書館に訪れやすい環境づくりを図ります。

サイレントスペース

- ・静かに読書や調査・研究などをするための場を設けます。

会議室／多目的スペース

- ・会議だけではなく、イベントや各種講座など多目的に利用できるよう、設備や映像機器の更新を図ります。
- ・ワークスペースや市民活動を支えるスペースとして利用可能なものとし、利用者同士が交流し、つながることのできる居場所づくりを目指します。
- ・地場産品の展示や情報発信を行うことで、地元産業の活性化につなげます。
- ・絵画作品などを展示できるギャラリー機能を設け、隣接する美術館や地元企業とのイベントなどの連携を図ります。

カフェ

- ・市民の憩いの場として、飲食や会話が可能なスペースを設けます。

屋外テラススペース

- ・多様なニーズに応えるため、屋外にも閲覧スペースを設置します。
- ・オープンな空間を利用し、マルシェなどの企画をとおして周辺施設やまちへつながる居場所とします。

移動図書館

- ・遠方の地域や交通の不便さにより図書館に来られない方の窓口として、まいづる号などの移動図書館の活用を図ります。
- ・まちと図書館をつなげるアイテムとして、まいづる号及び車庫の活用などを検討します。

階段／エレベーター

- ・バリアフリー化を図り、誰もが利用しやすい環境づくりを目指します。
- ・必要に応じ、利用者用エレベーターの設置を検討します。

共用スペース

- ・子どもトイレの設置や授乳スペースなど、親子連れや利用者のニーズに合わせたトイレを整備します。

(3) ICTの活用

ICT化により、さらなる図書館サービスの充実を図るため、以下について検討を行います。

- ・Wi-Fi環境の整備
- ・自動貸出システムの拡充（BDSの導入、ICタグの装備）
- ・情報検索システムの導入
- ・利用者カードのデジタル化
- ・デジタルサイネージの設置
- ・映像資料の提供
- ・蔵書点検の効率化
- ・郷土資料のデジタル化

(4) 想定スケジュール

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
基本計画				
基本・実施設計				
改修工事				
開館準備				
リニューアルオープン				

5 長寿命化の方針

(1) 目標使用年数の設定

天童市立図書館は、昭和58年7月に開館し、建築から40年が経過しています。構造は、一部鉄骨造を含む鉄筋コンクリート造です。

第一法規（株）より発行された「新工法による建物移転補償の実務」によると、鉄骨鉄筋コンクリート造の建物の耐用年数は90年と設定されています。また、令和4年3月に策定された本市の「公共施設等総合管理計画」では、長寿命化対策を反映した場合の建物の建て替え時期を、建築後80年としていることから、目標使用年数を2063年までの40年間と設定します。

(2) 既存設備の状況

ア 空気調和設備

区 分	状 況
開架室、ホール、ラウンジ	空気調和機によるダクト式、 床置ファンコイルユニット方式
事務室、会議室2・3	ファンコイルユニット方式
会議室1	空気調和機によるダクト方式

イ 換気設備

区 分	状 況
開架室、ホール、ラウンジ	空気調和機による第一種換気方式
事務室、会議室2・3	全熱交換形換気扇による第一種換気方式
閉架書庫	空気調和機＋有圧換気扇による第一種換気方式
トイレ、湯沸かし室、倉庫	第三種換気方式

ウ 排煙設備 自然排煙方式

エ 自動制御設備 電気式

オ 衛生器具設備

区 分	状 況
大便器洗浄（車いす用含む）	洗浄弁方式
小便器洗浄	個別感知洗浄方式
手洗器	個別自動水栓

力 給水設備（生活用水／冷却等補給水） 水道直結方式

キ 排水設備 屋内汚水・雑排水合流配管、下水道放流、雨水単独配管放流

ク 給湯設備（湯沸かし室） 電気温水器

ケ 消火設備 屋内消火栓設備

コ 照明設備 蛍光灯照明機器（開架室一部ハロゲン照明機器）

(3) 既存設備の保全状況

定期メンテナンスにより、随時、不具合箇所の確認や修繕を行っています（別表「修繕履歴書」のとおり。）。しかし、機器類及び配管類については、経年による劣化や不具合が発生しています。

(4) 既存調査結果

空調熱源については、更新後20年以上経過し、メンテナンス及び部品交換などで機能維持はできていますが、冷温水配管などの配管類の経年劣化は進んでいると考えられ、目標使用年数を達成するには全面更新が必要と思われます。

また、最近の図書館に求められる環境を鑑みると、諸室の特性に応じた個別空調と全館空調の組み合わせが必要と考えられますが、現在のシステムでは対応が難しいことから、空冷ヒートポンプ利用のエアコン方式などへの変更が必要と思われます。

さらに、現状では重油を利用していますが、環境配慮の観点からクリーンエネルギーの導入も検討が必要と思われます。

衛生設備の配管についても、経年劣化が進んでいることから、目標使用年数を達成するには全面更新が必要と思われます。衛生器具の更新の際は、節水・感染症対策のためにも、小水量洗浄便器水栓の自動化などを検討します。

電気設備については、機器の劣化が随所に見られることから、環境に配慮し、LED機器を基本とした機器の全面更新が必要となります。

(5) 改修等計画

既存躯体の長寿命化改修を行うほか、機能強化・拡充のため、延べ床面積約900㎡の増築を行います。既存部と増築部の相互通行のため、壁の一部を撤去するとともに、必要に応じて耐震補強を行います。

また、電気、給排水、空調等機械設備については、大規模改修を基本とし、

省エネ対策を適切に講じながら、現在以上の運用環境を確保します。

さらに、費用対効果の高い空調機器の選定を行うなど、環境に配慮するとともにランニングコストの削減を図ります。

書架については、現在の書架を改修し、継続して使用することを前提とします。新規書架については、地元産業との連携を想定し、既存書架の雰囲気を損なわないような書架となるよう配慮します。

◆各項目の更新方針一覧

区 分		改修内容
躯体	増築	・ 延べ床面積約 900 m ² 増築
	屋根	・ 塗り直し及び部分補修
	外壁	・ アスベスト除去のうえ、新規外装材へ全面更新 ・ 壁面の部分的な撤去及び耐震補強
	内装	・ 付加断熱工法による断熱効率の向上（断熱材の付加、窓ガラスの二重サッシへの更新検討） ・ 天井、壁面、床等の全面更新
	昇降設備	・ 昇降機の更新
電気設備		・ 照明のLED化
給排水設備		・ 給排水管の更新 ・ 男子、女子、多目的トイレの全面更新及び子どもトイレの新設
空調設備		・ 高効率空調機器の採用、用途に合わせた個別制御/集中管理方式への全館更新
書架		・ 既存書架のメンテナンス

別表

◆市立図書館改修工事（機械設備修繕）修繕履歴書（H18以降）

No.	実施年度	件名
1	平成 18	冷温水発生機更新工事（冷温水発生機のみ、冷却塔は再使用）
2		便所前天井内排水管漏洩修繕
3		地下水排水ピット内ポンプ交換
4		便所詰まり修繕
5		洗面給水栓取替
6	平成 19	冷却塔ボールタップ取替
7		洗面器水石けん入れ取替
8	平成 20	男子トイレ小便器つまり修理
9	平成 21	身障者トイレ詰まり修繕
10		空調機冷温水コイル洗浄修繕
11	平成 22	車いす対応トイレ詰まり修繕
12		和式トイレ改修工事
13	平成 23	開架室ファンコイル分解清掃
14		開架室系統三方弁用モーター交換
15	平成 24	開架室及び会議室冷暖房用ファンコイルユニット修繕
16		第一会議室空調機用三方弁モーター交換
17	平成 25	1階流し台排水管洗浄
18		トイレフラッシュバルブ用部品納品
19		休憩室貯湯式湯沸器内部点検清掃
20		第一会議室空調機点検清掃
21		女子トイレ用擬音装置修繕
22		女子トイレスクリーン改修
23		事務所及び開架室ファンコイル分解清掃
24	平成 26	開架室空調機修繕
25		開架室空調機点検清掃
26		開架室北側ファンコイル交換
27		女子トイレ洗面器排水金具修繕
28		閉架室除湿機修繕
29		冷温水ポンプ及び冷却塔ポンプ修繕
30		トイレ換気扇点検清掃
31		開架室及び会議室冷暖房用ファンコイル点検清掃

No.	実施年度	件名
32	平成 27	事務室・開架室の冷暖房用ファンコイルベアリング交換
33		休憩室電気給湯器修繕
34	平成 28	冷温水発生機薬注装置配管修繕
35		冷温水発生機オイルストレーナ交換
36		冷却水ポンプ点検修繕
37		冷温水発生機溶液分析及びインヒビター投入
38		開架室空調機修繕
39		床暖房用膨張タンク修繕
40	平成 29	冷却塔冷却ファン電源修繕
41		冷却塔ファンベルト交換修繕
42		冷却水ポンプ入替工事
43	平成 30	外部ベンドキャップ交換修繕
44		北側ファンコイル隠蔽型漏電修繕工事
45		冷却水ポンプ電磁開閉器交換
46		排水管漏水修繕工事
47		1階女子便所大便器排水詰まり修繕工事
48		北側ファンコイル（隠蔽型）清掃点検修繕
49	令和元	屋内消火設備水槽交換修繕
50		小便污水管臭気漏補修修繕
51		ホール内手洗器修繕
52		冷温水発生機フロースイッチ交換工事
53		冷却塔ファンベルト取替修繕
54	令和 2	冷温水管保温修繕
55		冷温水ポンプ入替修繕工事
56		トイレ手洗器自動水栓等工事
57		重油タンク配管修繕
58		事務室北側ファンコイル修繕
59		開架室ファンコイル修繕
60	令和 3	冷温水発生機修繕（燃料制御モーター・メイン基板・燃料制御基板・冷却ファン交換、冷却水水質清掃塗装）
61		男子トイレウォームレット交換
62		開架室網戸取付工事
63		誘導灯更新工事（事務室、開架室、第一会議室）
64		ロビー手洗器自動水栓取付工事

No.	実施年度	件名
65	令和 4	事務室東側ファンコイル修繕
66		身障者用トイレフラッシュ弁修繕
67		男子トイレ手洗器修繕
68		オイルギアポンプ修繕
69		冷温水発生機改修工事（機器内循環ポンプ・オイルポンプ交換、 溶液抽出ろ過作業、消耗部品交換等）
70		事務室網戸取付工事

◆ 現況調査結果

1 外観(東)	2 外観(西)	3 外観(玄関屋根)
		
4 積雪時状況確認(玄関)	5 積雪時状況確認(南)	6 積雪時状況確認(西)
		
7 ホール	8 ホール	9 ラウンジ(コワーキング)
		

10 開架室(児童書)



11 開架室(一般書)



12 開架室(受付)



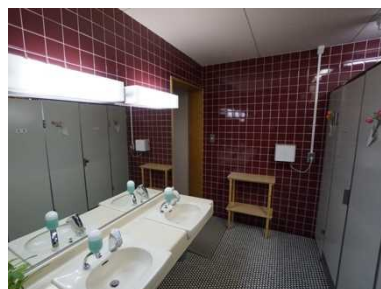
13 会議室 1



14 男子便所



15 女子便所



16 多目的便所



17 事務室



18 閉架書架



19 機械室



20 クーリングタワー



21 消火栓ポンプ室



【参考資料】

検討経過

1 関係者ヒアリング報告

(1) 実施期間

令和5年5月24日～10月26日

(2) 対象者

13団体、54名

図書館職員/美術館職員(館長)/教育委員/小中学校司書教諭/ボランティアサークル/利用者/民間事業者(ライブラリーカフェ運用事業者)/大学教員/高校生

(3) 共通質問事項

- ・ 現図書館の状況/課題点
- ・ 新図書館での興味/可能性
- ・ アイディア (ソフト) : 新図書館における、利用の仕方や企画に関する意見
- ・ アイディア (ハード) : 新図書館における、諸室の設え方や建築構成への意見
- ・ その他

◆現図書館の状況/課題点

- ・仕事終わりに子供の絵本を借りる。
 - 共働き世代は「寄り道的なの使い」をしている人も多い。
 - 職場からは近いが、自宅からは遠い人も多いのでは。
- ・子供のために本を選んで借りる。
 - 子供自身が本を選ぶ体験が必要、自分の興味に気付く場に。
- ・日中は退職したおじさんの場になっている。(新聞と雑誌を読む席を占領。)
- ・美術館脇の小道を子供が楽しそうに歩いている、探検感覚なのかも。
- ・コワーキングでの利用が多い。
- ・毎週10冊借りてくる子もいる。
- ・まいづる号(移動図書館)は毎回大盛況。
 - 年間運行スケジュールを作成し、各施設(小学校/高齢者施設/公民館など)に配布している。要望があれば施設毎に対応している。
 - 高齢者ニーズ：交通手段を持たない方は待っている人も多く、まいづる号の往来が地域の娯楽になっている。要望リストを作成し、必要な本を持っていくようにしている。
 - 学校ニーズ：学校図書では網羅できない専門書を用意し持っていく。校内の企画や展示、調べ学習に応じた関連書を揃えたいとの要望が多く、先生からの依頼が多い。
- ・利用者の不満は聞かれない。(コア層の方は東根や山形の図書館と比較し、今の雰囲気求め天童へ来ている。)
- ・今の雰囲気(静寂/厳格)を大切にしたい。
- ・高齢者と孫の組み合わせの利用者も多い。
- ・休日はパパと子供の組み合わせも多い。
- ・貸し出し中心のサービス、図書提供重視。
- ・重厚、落ち着いた色合いの空間、低い書架で上品な印象。
- ・まいづる号をはじめとした貸出し機能が充実。(特に小中学校との連携。)
- ・美術館が隣接されている立地環境。
- ・図書館は静かにする場所という固定概念がある。
- ・美術館のニーズとして、ドライブで来る観光客が多い。(宮城/福島/秋田)
- ・学校図書を利用している子は多い。まいづる号も大盛況。
 - まいづる号の利用は昼休みのため、実質15分程度しかない。借りたいが借りられない子もたまにいる。
 - 児童書のみでいえば、学校図書で足りているように思う。
- ・ほとんどの小中学校から図書館は立地が遠い。図書館で借りると返却が発生するため、学校図書利用で満足している子が多い気もする。
- ・図書館イベントを学校で周知すると、興味を持つ子は多い。(特に小学生。)

- 車で行かないと行けない距離のため、実際のところ親御さんが連れて行っているかは不明。
- 子供が小さいので、どうしても走り回ったり声を出したりしてしまう。
 - 現在の静かな雰囲気は良いと思う。
 - 読み聞かせ等は使ったことない。
 - 寄り道禁止の小学生は、下校途中で立ち寄ることはできないのでは。(図書館の裏に学童保育があるため、その連携はあり。)
 - 電車通学の学生は、駅ビル内の学習支援室を使っている。
 - 「図書館=静寂/厳格」の空気感が未だ根強いように思う。
 - 照明が暗い。照度も雰囲気に影響している。
- リピーターが半分/平日3～4割の稼働。
- 学習室も兼ねているため、テスト期間は中高生の利用増。休日は朝から並んでいる。
- 日中はセカンドライフの高齢者(男性)が多い。ブラウジング目的の利用。
 - 利用者同士の交流があり顔馴染みになっている方もいる。
 - それぞれが固定席のように、お気に入り席があるようだ。
 - 布絵本のボランティア活動で使用する道具類は、置く場所が小さいことからメンバー宅で分散管理している。
 - 読み聞かせは、大人の間(静かな雰囲気)と子供の間(話して良い雰囲気)を分離する必要があり、会議室で開催している。「静かな図書館」ゆえの分離。)
 - 気候を考えると屋外には展開しづらいのではないかと。
 - 館内装飾や配架のボランティアについては、各メンバーが各自の隙間時間で活動している。
 - 30数名が在籍しているが、団体で動くよりは個人での活動が多い。
 - コロナ前は年に数回交流会を開催していたが、現在は無くメンバー同士のコミュニケーションも少なくなっている。
 - 配架作業をしながら館内を見ているが、席がなく、仕方なく帰る方もいるように見受けられる。
 - 配架作業をしているため、利用者に本の場所を聞かれることが多い。
 - コンシェルジュのような役割も担っている。
 - 装飾は司書よりテーマをもらい、事務室の一角で製作している。
 - 他業務と兼用の場所であり、スペースも限りがある。
 - 布絵本や布遊具は2週間貸出し可能だが、実物を展示していないため貸出しできることを知らない方も多い
 - 以前は館内に展示していた。
 - 子供の声がうるさいとの苦情もあり、現在は貸出しリスト(紙資料)を使った受付し貸出ししている。

- 読み聞かせ団体とのコラボはしたことがない。
- 図書館と美術館は、南側に滝があることで空間として分離・独立された空間になっている。
 - 美術館は作家性・作品性を重んじた設計者の意図がある。
 - 道路から見えづらいため、美術館の場所が分かりづらいと言われる。
- 美術館の開館時間は9:30~18:00で、図書館と開館時間が違う。
 - たまに来る観光客には「もっと早く開けて」と言われる。
 - 図書館は9:00から開館していることから、待っている人に図書館の利用を推奨している。
- 県内の司書同士の交流がない。(美術館の学芸委員は顔馴染みである。)
- 教育で使う分はまいづる号を活用しているため、図書館に来る必要がない。
- 家が近いため、散歩のついでに寄るが、ベビーカーを置く場所が無く、なんとなく、この辺りなら邪魔にならないなと思う場所に置いて図書館に入っている。
 - ベビーカー置き場やそのまま館内に入っていけるようならありがたい。
- 子供の場所や子供といられる場所がない。
 - 館内の静寂さがハードル。
- 中高生がいられるスペース(学習/おしゃべり)がない。
- まいづる号のニーズが高まり、図書館内での管理用書棚が足りていないため、開架図書とまいづる号の図書は別で館理しており、まいづる号の管理用書棚は事務室内の一角に設置している。
- 事務室内作業スペースが不足している。
- 倉庫が不足している。
- ライブラリーカフェ開催時、飲食スペースとしてパラソルテントとテーブルをエントランス脇に設置しているが、スペースが足りていない。
- 物(備品や本)の収納スペースが不足している。
- 駐車場マスが狭く台数も少ない。
- まいづる号の車庫の落雪が危険であり、対策が必要。
- 閉架書庫が、除籍予定本の置き場になっている。除籍作業のスペースがない。
- 席がなく帰る学生もいる。
- 事務室が寒いく、夏は暑い。歴史相談室はもっと寒いく暑い。
- 照明が暗いとよく言われる。
- 西日がカウンターを直撃して眩しい。
- 全館空調のため、こまめな温度管理が出来ない。
- 築40年の経年劣化が気になる。
- 会議室の床冷えが酷い。(読み聞かせは床にマットを敷いて開催している。)
- 読み聞かせの活動を知らない方が多い。

- 隣接する美術館でワークショップ等の活動をすることもあるが、連携してひとつのことをしたことはない。
- 高校に進学してからは、普段はほとんど利用しない。テスト期間中に利用している同級生はいるようだ。
- 天童駅から天童高校まで自転車通学している子が多く、通学動線上に図書館はあるが、立ち寄ったことがない。
→普段はスターバックスやマクドナルドで勉強したり、同級生と雑談している。
- 今は、子供が騒いだりするのが気になり長く居ることができない
- 以前、子供をトイレに連れて行ったとき、とても苦勞した。(狭くて二人で個室に入るのが大変だった。)
→子供トイレがあると嬉しい。

◆新図書館での興味/可能性

- ・親子で行動したり、体験に参加したりするのは幼稚園から小学校低学年まで。
- ・遺跡を核にした図書館と西沼田遺跡公園とのコラボの可能性もあるのでは。
- ・図書館で土器の展示ができるのでは。実際に触ってみるなどの企画展。
- ・サークル団体の活動や発表の場。
- ・お悩み掲示板の設置。(武蔵野プレイスで実施。)
- ・自由な掲示。(自由に使える壁。)
- ・活字を書く仕組み。
- ・静かな場所のメリットを生かす。→今の雰囲気を活かす方法を考える。
- ・「わたしが主役」「本と出会い、人と出会う」のようなコンセプト。
- ・「こども祭り」等のイベントの充実。
- ・全館おしゃべり可能にできないか。又は、おしゃべり可能な場所(室)をつくれないか。
→現図書館が「静けさ」を前提にしているため、新図書館のベースが「おしゃべり可能」になるかどうかを議論する必要があるのでは。
- ・設備の老朽化が目立つ、改善してほしい。(鍵交換や給湯など細かい部分も。)
- ・絵本コーナーの充実。
- ・産業とのコラボ。
- ・カフェ機能。
- ・運営体制の強化。(美術館との事務機能連携など。)
→同じ指定管理のため、事務機能の合併の可能性もありえるかもしれない。
- ・児童書を充実するなどの図書館のメインテーマがあると良い。
- ・サークル同士がつながる場所がない。図書館が担えないか。
- ・地域の課題解決に向けた取り組みの支援。
- ・様々なサービスで、長時間快適に滞在できるように。
- ・学び成長できる図書館。
- ・仕事や暮らしに役立つ図書館。
- ・本と遊べる、遊び心のある図書館。
- ・歴史を継承し未来へつなぐ図書館。
- ・居心地のよい図書館。
- ・ライブラリーカフェの継続。
- ・規模の拡大。(横のつながりの強化。)
→げんキッズ等周辺施設を巻き込んだイベントの開催。
- ・こども祭りの活性化や他の団体との協働の場。
- ・読み聞かせを子育てのツールに。
- ・活動を知ってもらう場所や仕組みがあると嬉しい。
→現在年1回行なっている展示会は第一会議室利用のため、外から見えづらい。

- 興味がある人は入ってくるが、ふらっと入ってくる人は少ない印象。
- ・開かれた図書館もいいが、図書館は目的を持っていく場所だと思う。
 - ・図書館のあり方を明確化。資料を持つのが図書館の本質では。
 - 現状、雑誌等は一定期間で除籍し、市民に配布している。
 - 美術館では美術関連雑誌等は永久保存している。
 - 織田の里資料館の古文書や美術館の持つ専門書も、本来は図書館が担う機能だろう。(県立図書館等がそうなっている。)
 - 蔵書数が足りない。
 - ・調べる場所(机に資料を広げるなど)があるといい。
 - ・専門性に特化した部分をつくっては。
 - ・全館空調の廃止。
 - ・県内の図書館で役割分担し、図書館のカラーを出す。
 - 図書館同士の連携を強化。
 - 美術館は収集品のすみ分けをし、連携して保管・展示を行っている。
 - ・デジタル書籍と紙媒体、どちらにもメリットとデメリットがあると思う。
 - どちらもバランスよく使えると良い。
 - ・夏休み期間のイベント開催。
 - ・周辺の温泉街、美術館との連携など、周辺を巻き込んだ活動はできないか。
 - ・天童市美術館を拠点とした「天童アートロードプロジェクト」を10年以上続けていているが、図書館との連携まで至っていない。ワークショップやイベントを通じ、市民をつなぐ場となり得ないか。
 - ・「お洒落な」場所であって欲しい。
 - ・カフェが欲しい。
 - ・ティーンズコーナーが充実していたらいく機会が増えそう。
 - ・多賀城図書館のような雰囲気はいいなと思った。
 - ・1人で勉強したい子がいるように、みんなで楽しく勉強したい子もいる。
 - ・読み聞かせによく参加するのだが、読み聞かせの後に体験型ワークショップなどができたら面白いのでは。
 - 絵本に出てきた物などを作ったりできれば楽しいし、子供の興味や関心が深まる。お友達を誘って来ることもし、そういったイベントがあった方が誘いやすい。

◆アイデア（ソフト）

- ・子供が本と触れ合える、自分の興味に出会える場所。
- ・育休中のおかあさんが集まる場所。
→一人で抱え込む人が多い。一緒だと子供から目を離せる。（皆で見る。）
- ・お父さんと子供と一緒に過ごせる場所。
→共働きが多いため、休日は「パパとおでかけ」の家庭も多い。
→授乳室やおむつ交換もジェンダーレスに。
- ・複合化はいいが、コストもかかる。「図書館」であることは大切にしたい。
- ・多様性を考えたり、本との出会いの場。
→人との出会いの場になる。美術館との連携も。
- ・サークル団体の活動や発表の場。
- ・図書館がどこにあるのか知らない人もいるため、広報活動の強化。情報伝達の仕組みを工夫したい。
- ・美術館の企画展と連携したワークショップの充実。
→現状は、美術館主体で考え図書館に伝えていたが、図書館側からも提案できれば。
- ・10代が居やすい場所。（サードプレイス。）
- ・予約本コーナーや自動貸し出しの整備。
- ・自動返却機の設置。
- ・検索内容を印刷できるサービス。
- ・カウンターが広すぎる。
→各機能（貸出・返却/申込/レファレンスなど）が整理されたカウンターの整備。
- ・民間（天童木工）とのタイアップをもっとできると良い。
→コラボグッズの開発や販売など。
- ・有償（数百円、材料費程度）のワークショップ開催。
→ブックカバーワークショップなど。
- ・IoT化で先行事例をつくる。
- ・利用者の新規開拓ができていない現状。
→高齢者は移動の問題がある。
- ・座る場所がない。
→様々な滞在の仕方ができる場所を作る。
- ・次世代へ続く図書館。
→多くの居場所を作る。
- ・キッチンカーの集えるイベントスペース。
- ・カフェ機能の設置。
- ・QRコードの活用。スマホやタブレットでの貸出し。
→小中学生に配布されているタブレットとの連動。

- ・古文書等の史料をデジタル化し天童デジタルコレクションとしてHP等で公開。
- ・ほんとかんグッズの展開、製作販売。
 - 将棋駒キーホルダーやぬいぐるみなど。
- ・図書館利用でポイント付与、ほんとかんグッズプレゼントなどのイベント開催。
- ・借りて読んだ本の値段も登録でき、自分がいくら分の読書をしたかがわかる読書通帳的な機能。
- ・週1でのキッチンカーマルシェ開催。
 - 最低売上補償があれば手をあげる事業者は多いと思う。周辺に公共施設多く、収益性は高いのではないか。
- ・明るい空間。
- ・木の下(木陰)での活動。(木漏れ日広場。)
- ・夜の読み聞かせ。(中山町図書館の事例。)
- ・美術館での活動や企画展とのコラボ。
- ・階段を利用した読み聞かせ。(白鷹町立図書館の事例。)
- ・子供にとっては「遊ぶ」と「本を読む」が一緒。子供の国のような場所。
- ・布絵本を「借りられる」という事を広げたい。
 - 情報の発信の方法を考える。
- ・同じ空間で作業と遊びの場が共存しても良い。
- ・賑やかな美術館(体験美術館)と静かな図書館の二面性。
- ・体験美術館的なことを図書館でも。
 - 体験美術館は20年以上やっている。
 - ビーズ、レゴブロック、固まる砂など、年3回イベント内容を変えている。
 - 子供のための体験などは、図書館とのコラボの可能性あり。
- ・利用者が場所を選ぶ図書館。
 - 様々な場があれば選ぶことができる。(水の音・賑やかな音/静寂)
- ・多彩なシュチュエーション。
- ・放課後まいづる号の運行。(イベント的な開催。)
- 普段15分ほどしか利用できない分、長い時間使えたらよいのでは。ワークショップを開催できると良い。
- ・循環バスの運用。
- ・タブレット端末を使ったイベント周知の仕組み。
- ・図書館と美術館の連携企画。(アーティストの展示を図書館で行ったり、関連本の展示を美術館で行うなど。)
- 来館者が両方の施設を行き来できる仕掛けをつくり、相乗効果を狙う。
- ・天童市の副読本の制作に携わった。わかりやすく視覚的に天童の歴史や文化を発信できる場所を作れないか。
- ・図書館サポーターのような団体の構築。

- ・ 高校生が選書した企画展。(ティーンズ文庫など。)
- ・ 話題になっているドラマや映画の原作本の展示や関連情報の展示。
- ・ 漫画やライトノベルのコーナー。
- ・ わらべ館の本は、表紙が見えるように陳列してあり、それが子供でも手の届く高さにあるため、子供が自分で選んで本を持って来る。自分で選んで、自分でお片付けもでき、学ぶことができる。
- ・ 大人のスペースと子供のスペースを分けていただけるとありがたい。

◆アイディア（ハード）

- ・長時間の利用(半日以上)だと授乳室が必要。
- ・学習スペースの充実。
- ・椅子じゃないカフェ。(小あがり。)
 - 通常の飲食店は子供連れていくとなると厳しい。
 - 周囲の寛容な目と雰囲気重要。
 - コメダコーヒーみたいな感じが好き。(席と通路が広く賑やか。)
- ・展示に使える場所。
- ・ミニショップ。
- ・読み聞かせ部屋。(靴を脱げると良い。)
- ・個別空調。
- ・ネットコーナーや視聴覚コーナー。
- ・児童コーナーと読み聞かせコーナーの一体化。
- ・水回りの充実。(おむつ替え/子供トイレ/授乳/オストメイト)
- ・明るい図書館。(明るい照明。)
- ・ボランティア専用ルーム。
- ・事務室内作業スペースの確保。
- ・閉架の整理。棚の追加。
- ・カーペットではない床の検討。
- ・書棚にブックエンドを設置。(書棚に余裕をもたせ収納しやすく。)
- ・カフェはいいが臭いもあるので別棟が良い。
- ・カウンター周りの改善。(袋詰めスペースなど。)
- ・軽食スペースが欲しい。
- ・綺麗なトイレ。
- ・子供トイレ。
- ・授乳室の整備。
- ・絵本の収容スペースの確保。
- ・バックヤード(ロッカー等)の拡張。
- ・防災に強い図書館。
- ・デジタル図書館。
 - 〇〇図書館のような「売り」になるコンセプト/他図書館との差別化ができるようなものが欲しい。
- ・隠れ家的な場所を作りたい。
- ・ボランティア活動の作業スペース。
- ・登録式の学習室。
- ・書架の整理。足元の本をもっと取りやすく。(特に幼児コーナー。)
- ・ボランティア控室や市民活動室。

- ・空調の更新で窓際の吹き出し口を撤去し、カウンター席をつくる。
- ・閲覧席の充実。
- ・事務室を美術館との間に設置し、現在の事務室は閲覧や読書スペースに。
- ・照明のLED化。
- ・貸出しカート(子供用も)を設置し、併せて動線の整理を。
- ・おむつ交換は必要だと思う。
- ・子供が靴を脱いで過ごせる場所。
- ・「おはなしの部屋」のような、声を出したり演奏できたりする部屋(スペース)。
- ・活動が見える貸し活動室のような場所。
- ・展示に使える市民スペースのような場所。
- ・「布絵本をつくる」と「読み聞かせる」場所は一緒でもいいかもしれない。
→活動の認知度が広がる。
- ・調べ学習スペースの確保。
- ・美術館の持つ専門書の貸出し。
- ・レファレンスの強化(調べ学習支援)。
- ・机や椅子じゃない場所。
- ・検索してピックアップした図書を学校へ配送。
- ・展示に使える場所。
- ・市民の活動が見える場所。
- ・イベント時は少し騒がしくなくても良い場所(雰囲気)など、場面によって違う雰囲気の流れる場所を作れないか。(現に美術館は平常時閑静であるが、ワークショップ時は賑やかな場所となっており、それを許容する雰囲気がある。)
- ・お洒落な飲食店。
- ・寛げる席。
- ・グループ学習できる場所。

◆その他

- ・カフェについて、100円のコーヒーと500円のスペシャルティなら後者派。
子供を見つつ美味しいコーヒーを飲めたらベスト。
→ちょっとした贅沢（ごほうび感覚）。
→現状、子供と一緒にいる時は飲み物や食べ物は持って歩いている。
- ・幼児(0～2歳)と上の子(3～6歳)を同時に面倒みるのは大変。子育て世代が気兼ねなく集まれる場所/雰囲気欲しい。
- ・子供と外出する時はお散歩とセットにしている。(駄菓子屋に行ったり。)
- ・駐車場の利用がしづらい(区画が狭い)。最近の車の幅は大きくなっている。
→駐車場を他施設とまとめる(立体駐車場など)。
- ・産業とのコラボ(房具等の企画販売)。
→民間が使えるチャレンジショップなど。
- ・小学校低中学年になると単独での行動が増える。(友達と自転車での移動など)。
→親子連れの対象は乳幼児5～6歳まで。
- ・美術館での展示に合わせたワークショップを開催したこともあるが、美術館主催のため申し込みは美術館でしかできず、図書館側では告知と案内しかできなかった。
→図書館側でも受付できればもっと円滑に進められたのでは。
- ・ライブラリーカフェは、当初は近所の老舗喫茶店のマスターにコーヒーをフリードリンクとして提供してもらっていた程度。マスターの引退を機に事業者を公募し、今の形になった。
- ・会議室のドアが重い。
- ・事務室内作業スペースでの談笑が開架に聞こえ、クレームが来たこともある。
- ・図書館と美術館の間の小道はいらぬのでは。
- ・貸出しの関係でコワーキングスペースに本を持っていけない。
→ビジネス支援等が行えていない。
- ・外部とのコラボ企画について、抵抗はあるが外部の風は入れたい。(入れていかないと変わらない。)
- ・建具の鍵交換等、詳細部の修繕もして欲しい。
- ・賑わいを生むとマナーを守らない人が多くなるのではないか。
- ・老若男女フラットな図書館をコンセプトに当初は建設している。
- ・健康センターでブックサービスができると良い。
→ブックスタートのやり方を教える。
- ・公民館の図書機能の拡張やその他公共施設での図書館機能の拡張。
→現状借りられないが、借りられるようになるといいのでは。
- ・歴史相談室は引き続きあった方が良い。
→コワーキングスペースとの関係性が課題。(うるさいとの苦情がある。)

- ・織田の里歴史館保管の書籍や史料と合わせて蔵書整理。(収蔵庫の増築など。)
- ・キッチンカーでの図書館への乗り入れが大変。
 - 電源供給の有無はキッチンカーにとって大きな問題。
 - 発電機の貸出しでもありがたい。
 - 日陰になる場所がないため、食べる場所がない。
- ・読み聞かせサークルのメンバーは保母さんだった方や育児を終えた方も多い。
 - 楽器の演奏や、歌をメインにした読み聞かせ多い。
 - 布絵本の読み聞かせに使う道具は手作りのものが多い。
 - 布絵本製作の裁縫セット等必要な道具を保管する場所があるとありがたい。
 - 県立図書館「くまさんの会」とは交流なし。
- ・ボランティアサークルと高校生とのコラボの機会があっても良い。
- ・美術館では、年に数回ナイトミュージアムを開催(午後7時まで、映画上映。)
 - 人件費と経費の問題で回数減。
 - 夜は駐車場内の街灯がなく、危ない。
 - 夜間利用を想定されていない施設。
 - 美術館では、美術館×こどもの関係を開館時より考え企画してきた。
- ・二面性を持つ美術館。(常に静寂性/威厳性は必要ないと思っている。)
 - 子供向けの企画の際、厳格な来館者からたまに苦情があるが、都度説明し理解を得ている。
 - 子供向け展示の際は「賑やかな美術館」として運用。
 - BGMはあえて流していない。(美術品との相性が難しい。)
- ・中学生はイオンモール天童のフードコートにたむろしているようだ。勉強している子もいる。コンセント、軽食、声出しの自由さ、気軽さが中高生には必要(サードプレイス)。
- ・学校司書がないため、図書館司書と司書教諭との連携体制が組めると助かる。
- ・現在の仕組みで、学校から図書館へお願いや相談できる内容を知りたい。何をどこまで大丈夫なのか。
- ・県内美術館を中心にアートワークショップを展開しているが、その多くはボランティアであることも事実。企画構想から当日のスタッフまでを担うため、相当な労力がかかっているのも事実。継続的に施設を活用、活動を展開させていくためにも、運営の仕組みが重要になってくると思う。
- ・図書館がここにあると知らない学生もいるかもしれない。広報誌以外にも、SNSを使った広報もあった方が良いのではないか。

2 デザイン会議報告

(1) デザイン会議とは

新図書館等建設に向け、構想段階から市民の参画を促し、新しい図書館等のイメージを市民と共に共有することを目的とした公開型の会議である。

全2回開催し、図書館をはじめとする専門家を招いた基調講演やディスカッションの場を設けた。市民と共につくる新しい公共空間の重要な役割を果たす場となった。

来場者へはポストイットを配布し、その場で意見や感想を頂戴して、「市民の生の声」を元に議論を展開した。

(2) 開催報告

ア デザイン会議 Vol.1 「未来につなぐ図書館」

開催日：令和5年8月26日（土）午後2時00分～午後3時40分

会場：天童ターミナルビル「パルテ」3階市民プラザ多目的ホール

参加人数：約70人

うちアンケート回収：51件（アンケート回収率：約73%）

うちポストイット提出：180件

【基調講演】

登壇者：大林 正智 氏(益子町地域プロジェクトマネージャー)

テーマ：『ROCK司書は新しい図書館の夢を見るか?』

益子町新図書館の計画で実践されている「多様性と統一感」を生むための取り組みを踏まえ、天童市の未来をつくる図書館のあり方について講演いただいた。



【プレイヤープレゼン】

これまでの活動と、これからの図書館(またその周辺エリア)に期待することや構想している事について、図書館で活躍する実践者にプレゼンテーションいただいた。

プレゼンター①：古澤 直美 氏(天童市立図書館 主幹司書)

プレゼンター②：武田 真理 氏(天童市立図書館 主任司書)

プレゼンター③：伊藤 純子 氏(おはなしの会「くれよん」)



【ディスカッション】

登壇者：大林 正智 氏(益子町地域プロジェクトマネージャー)

古澤 直美 氏(天童市立図書館主任司書)

武田 真理 氏(天童市立図書館主任司書)

伊藤 純子 氏(おはなしの会「くれよん」)

馬場 正尊 氏(東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科教授)

参加者へ受付時にポストイットを配布し、回収した意見・質問の中からテーマを抽出し、「図書館での多様な過ごし方」や「司書と市民の関わり」などを論点に登壇者がディスカッションを行った。



イ デザイン会議 Vol.2 「みんなでつくる図書館」

開催日：令和5年12月3日（日）午後2時00分～午後4時00分

会場：天童ターミナルビル「パルテ」3階市民プラザ多目的ホール

参加人数：約100人

うちアンケート回収：51件（アンケート回収率：約51%）

うちポストイット提出：92件

【基調講演】

登壇者：三浦 丈典 氏(株式会社スターパイロッツ代表)

テーマ：『トレラント(寛容)でインクルーシブ(包括的)な図書館をめざして』

瑞穂町図書館や牧之原市立図書交流館「いこっと」の計画の中で生まれた「図書館に必要な寛容さ」への問いと実践を軸に、今後求められる図書館づくりについて講演いただいた。



【プレイヤープレゼン】

これまでの活動と、これからの図書館（またその周辺エリア）に期待することや構想していることについて、天童市で活躍する実践者にプレゼンテーションいただいた。

プレゼンター①：石沢 恵理 氏(東北芸術工科大学総合美術コース専任講師)

プレゼンター②：山口 敦史 氏(株式会社DMC天童温泉代表取締役社長)



【ディスカッション】

登壇者：三浦 丈典 氏（株式会社スターパイロット代表）

石沢 恵理 氏（東北芸術工科大学総合美術コース専任講師）

山口 敦史 氏（株式会社DMC天童温泉代表取締役社長）

馬場 正尊 氏（東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科教授）

参加者へ受付時にポストイットを配布し、回収した意見・質問の中からテーマを抽出し、登壇者がディスカッションを行った。「地場産業と図書館の関わり方」や「図書館スタッフとしての新規コーディネーターの提案」など多角的な視点で意見交換が行われた。



3 基本計画策定懇話会報告

基本計画策定懇話会（以下「懇話会」という。）を3回開催し、ヒアリングやデザイン会議で出た多くの市民の声を元に、基本計画の骨格部を議論した。

(1) 懇話会委員

馬場 正尊 氏(東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科教授)座長

池田 良平 氏(天童市美術館館長)

伊藤 順子 氏(おはなしの会「くれよん」代表)

海老 洋一 氏(天童市立図書館利用者)

奥山 奈津子 氏(天童市立図書館利用者)

古澤 直美 氏(天童市立図書館主幹司書)

渡邊 桂 氏(東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科教授)

委嘱期間：令和5年6月29日から令和6年3月31日まで

(2) 開催内容

ア 第1回懇話会

開催日：令和5年6月29日（木）

主な議題：市立図書館リノベーション事業についての説明

市立図書館の現状と課題について



イ 第2回懇話会

開催日：令和5年9月12日（火）

主な議題：デザイン会議 Vol.1 の振り返り

コンセプトの骨格をディスカッション



ウ 第3回懇話会

開催日：令和5年12月14日（木）

主な議題：デザイン会議 Vol.2 の振り返り

前回懇話会の振り返り

基本コンセプト等の検討



4 アンケート集計結果

(1) デザイン会議 vol.1

ア ポストイット

実施日：8月26日（土）

実施方法：参加者にポストイットを配布し、記入後回収。

回答数：180枚

インクルーシブ
高齢者の集いの場にもしたい
やはり小さい子供から高齢の方まで集える図書館
みんなの「やりたい」を許容できる図書館
カフェ、テーマで生かせる多義的な場所
禁止が少ないと行きやすい
1、静かに読書するスペース 2、イベント多様性を図るスペース 3、コーヒーを飲んだり、ゆったりするラウンジ →上記の1、2、3、の割合はどうするのか。2、3が多いほど未来に繋がる図書館になるのかな
多様性を認めつつ、統一感のある対応
行きたくなるような空気、施設を希望します
にぎやかからしずかへのだらだらとした流れ
館内に均一でない場所によって変わった空気が流れるところ
階段&広場（イベント、コンサート、そこで読む）
飲める、食べれる図書館
若者や子育て世代の言葉が詰まった場所にしたい！！
子供とお年寄りが楽しめる
来館者を管理じゃなく“信用“している図書館→格段に自由度が上がる
スポーツ教室に子供を送り迎えするように図書館に子供を送り迎えするような場所
子供だけでなく大人も呼び込む
1人でふらっと行ける、行きたい図書館

日頃、図書館を使っていない人々の意見を聞くことも必要
「私」天童に来てから、年々忙しくなり図書館の利用ができなくなっていました。夜でも利用できる図書館だと嬉しい。
子供向けに畳敷きの別室がある図書館（維持は大変ですが…）
赤ちゃんが行ける図書館
誰でも利用できる、ゆったりすごせる場所
子供も大人も誰でも来たくなる所…司書さんもやさしいし教えてくれる
お年寄りと子供たちの交流スペース
図書館に家具を持ち込みたい
子供も大人も楽しめる図書館
自由に出入りできる場
年配の人も利用しやすいDVD貸出
学校との関係が密になり過ぎて、子供達は行きたがらない。（学校＝図書館ではない。）
受験生が勉強→休憩（友達と話したり）→勉強できるような場所。
ゾーニングのあいまいさ
リラックス
ごろごろする
居心地の良い図書館
カフェのある場所、クールダウンできる場所、遊べる空間が欲しい
屋外でゆっくり本を読める場所、スペースが欲しい
今日まなびあテラスにいきました。美術館の展示を見て、そのあと図書館で思った以上に長居した。天童でも…
ゆっくりすわれるいすあるといいな
階段下とかにおこもりスペース
リラックス足つぼコーナー
ゆっくり本を読みたい
居心地の良いスペースで過ごしたい
外で本を読める図書館
押し入れ的なスペース

窓辺に座れるスペースをつくってほしい
好きな飲み物を読んでゆっくり本を読めるスペース
ウッドデッキ
図書館でお昼寝したい
快適な個人スペース
本を読んで寝落ちしたい
長時間そこで過ごしたい。半日くらいのんびり、ゆっくり、ゆったり
一日中いたい図書館
寝ころがって本が読みたい
外にも居心地のいい場所
アクティブ
ボードゲームがしたい
アクティビティの拠点としての図書館
動いて楽しいもの
にぎわいとつながり
もっとフリーな楽しい場
自由に動かせる本を読める机+場所
書庫ではなく、本を通じて交流する場に。→静かではなく、話せる図書館が欲しい
ワークショップができる空間
フリーランスの人などが集まって交流できる空間
図書館でおにごっこ・かくれんぼ→くれよんの会のお話で、こういう日があってもいいのではと思った
本のある広場 会話のできる場所であってほしい
体験型の図書館
かくれがのあるところ ジャングルジムがある
図書館でキャンプできるかな？…
動く物語が進む 楽しめる部屋
サイレント
サイレントルームは必要ないのか

自分の調べたい事を静かにできればいい。
それでも静かな図書館が好き。
本についてのサービス
本に出会うことで世界が広がるように
棚づくりの奥深さを感じました。棚、書架から考える図書館像…
本を見つける行為が楽しい図書館がいい(本棚、展示の工夫)
学校同士との連携でタブレットで読書記録がある
町の本屋に売ってない本がたくさんある
棚を作りたい
TV で見たのですが自分の蔵書を図書館の書棚に置ける
本との出会いを楽しめるように。
現状の絵本コレクションは素晴らしい！
本以外のサービス
アニマルコーナー・ミニ動物園
カフェは必置
勝手に本を選んでくれる
温泉カフェみたいなところ、漫画もある
畑の中の図書館、作物を食べられる
カフェ、食事
W i - F i
映像のある部屋、映像で遊べる
本以外から情報を取り入れられるようにしてほしい。セミナー、講座、イベント、市民同士の交流地
魚と遊ぶ
図書館の出張本棚をお店に置きたい
おじさんコーヒーマスター リタイヤした人活躍して！！
本を借りたり返したりするところが2箇所以上ある
服が売っててもいいと思う
絵本に関する制作体験がしたい チリとチリリにでてくる食べ物づくりみたいな

移動図書館による街の図書館化
図書館に行かなくても本が借りれる図書館
コミュニティ / イベント
各地区の公民館とつながった図書館の活動があると地域の方との交流が生まれるのではないかと思います
今までの図書館での交流は司書さんとだったのが、いろいろな方との交流が生まれる図書館はわくわくするなと思いました。
地域の企業とコラボしている企画も地域を知る場となりいいなあと思いました。
コミュニティを守る、作ることが図書館の大切な役目かな！
本を持つことも大切だけど「知識の収集」が図書館の役目、人とつながる場所に！
地域資料をもっと集めてほしい
にわかユーザーを増やすイベント
人とつながり、解決できる図書館
産地直売週 1 回
自分の得意なことを人に伝えたい
誰か詳しい人に、自分のわからないことを相談したい
天童の歴史をしっかりと勉強できるように
「天童」近くの天童温泉や地酒などラ・フランスや将棋以外にも天童らしさを市民にも、共感できる図書館になって欲しい
多様なプレイヤーと協働→ネイチャーゲームをしているので利用してみたい！
仲間を見つけない
企業や化学者などのトークイベントを通じて子供の興味が広がるイベント
月 1 回の花市を図書館で
七夕みたいな子供の活動や季節変化を見られる要素が好き
様々なジャンルの読書会の開催
イベントホール
市民の写真展
天童市立図書館さんのプレゼンを拝見して沢山イベントされていることをはじめて知りました。
もっと外に知ってもらえるようなプロモーションしてほしい。
ワークショップをたくさん開催したい

イベントができる図書館
問題提起 / 感想
発信する場としての図書館、情報、考え、意見をつたえる場が欲しいと思う
図書館について議論したい。
お利口さんな図書館からの脱却
『書・物・人・文化』 直に交流できる場
図書館で、町にひとつだけですか？分館構想ほしいです。いい図書館があっても遠かったら行けないですから。
学ぶ、調べる⇔実践、発信
図書館って??ネーミングは??
本に限らない学びの場
いろんな機能があるのはいいかもしれないが、イオンモールみたいになりそう→それでいいのか？
これまでの図書館で失ってはならないものは？
「にぎわい」「つながり」は本当に必要か？
現状の天童市図書館の建築が好き。そのままがいい。
リフォームではなくリノベーション
広場とのつながり→公園×図書館
天童市のシンボルとして、市民が一日楽しく遊び学べる空間を望みます。
今日は「多様性と統一感」をめざす図書館ステキです！
あらゆる年代の人々が癒しと知的活動を行える空間を望みます！
多くの意見をうまくまとめて下さい
読み聞かせの伊藤さんの話が良かった！
ROOK とは何でしょう？
豊橋まちなか図書館屋上農園とあるが具体的に伺いたい
「笑顔 にぎわい しあわせ実感 健康都市」それが図書館で実現できる！
そんな図書館はステキだと思いました
図書館は言葉で出来ている
明日が今日と同じであるとは限らない
有難い場

全国的に立派な図書館が増えているが見た目よりも中身のある図書館に！！親しみのある図書館に！！
その他
決まった時間に何かが動く（からくり時計のような）音楽が鳴るものが欲しい
図書館を支援する企業のファンクラブがあったらいいのではないか→企業はイメージアップ！
隣の美術館と合体
(建築から)新しい図書館を作る
数100人～1000人程度を対象に学校の図書館などで司書1名でも行えるが、60,000人以上の市民を対象に
従来 of 図書館機能をプラスした新サービスを実践するための図書館スタッフの専門性や教育の大変さはどのように対処するのか
一人一人の学びを持続できる図書館
管理上の対立が邪魔しない市民のための場
温泉と図書館と公園とを合わせて考える
美術館との連携を深めてほしい。VUCAの時代、美術館も大切。美術館企画展に合わせた本の紹介。
人口減少対策として産業復興が大切。「ビジネス支援」に力を入れてほしい。本や講座で検討してほしい。
天童木工の家具にまつわる「デザイン」も見て触れられるような、知の図書館にもなって欲しい!!
図書館×公園×温泉
多様性と統一感のための館内禁止事項や広報物などのデザインや図書館のVI（ヴィジュアルアイデンティティ）をデザインしたいと思いました。
健康になりたい人も環境も。旅館の廃棄食材で健康スープ。
司書さんについて
これからの司書の専門性、頼れる人がいる、というのはとても賛成です
本と人をつなぐ頼りになる司書の存在
司書さんの方のやりたいことは実現してほしい。なぜなら、一番図書館を知っている、言葉の説得力があったから。
司書の顔が見える図書館

司書さんと知り合う機会が欲しい

レファレンス機能があまり分からないので使ってみたい

司書とも雑談したい

司書の顔が見える、最高!!司書のキャラクターがいろいろ見てみたい。

学生やいろんな専門家が一日司書になっておススメ本を紹介してくれる

(図書館を興味を人につなげるコーディネーターに)必ずしも司書が全てを知らなくても

司書の個性が光る図書館がいい!

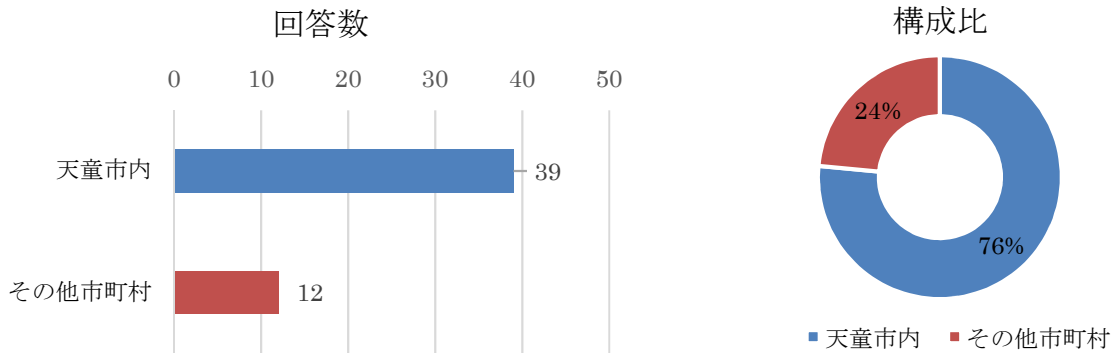
イ 会場アンケート

実施日：8月26日（土）

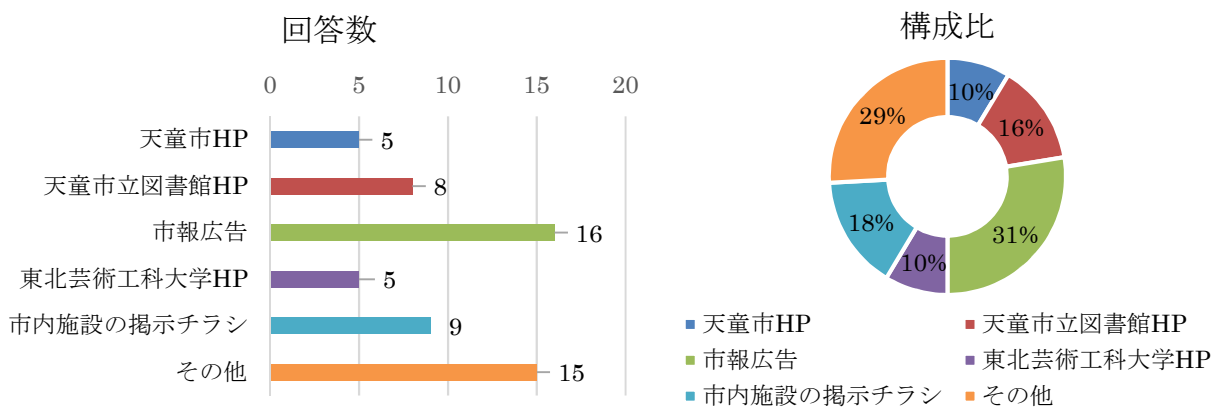
実施方法：参加者にアンケート用紙を配布し、退場時回収。

回答数：51

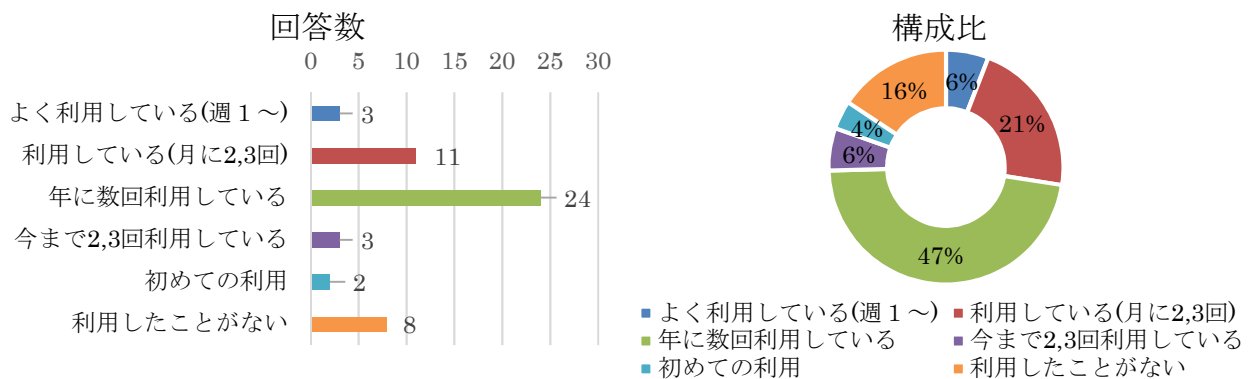
Q1：お住まいは天童市内ですか？



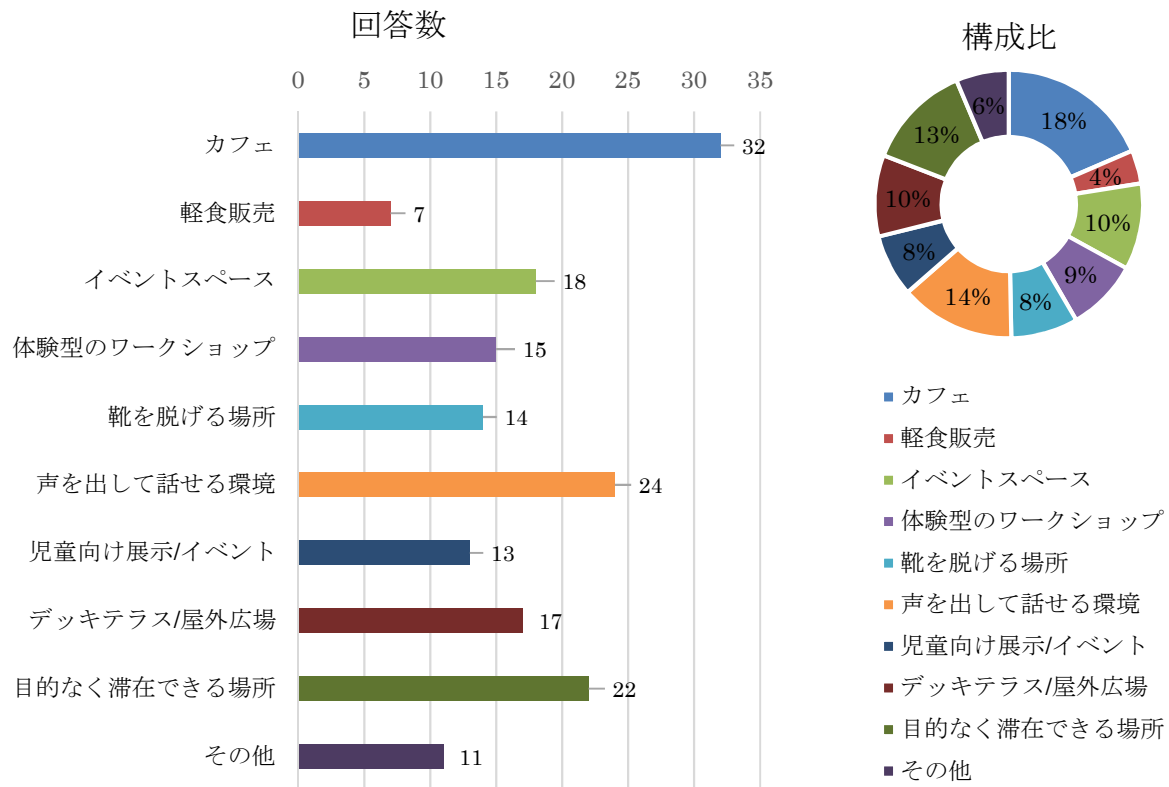
Q2：本日のデザイン会議について、どちらで開催を知りましたか？



Q3：天童市立図書館の利用頻度はどの程度ですか？



Q4：図書館にどのような機能や場所があれば利用したい／利用しやすいですか？



Q5：図書館にどのような機能や場所があれば利用したい／利用しやすいですか？（自由記載）

回 答
デジタル図書の運用
館内のエリア配置が重要
カフェやのんびりできる場所があるとうれしい
コミュニティをつなぐセンター機能になると良い
図書館の場合は、にぎわいという定義が「人が集まる」という視点で考えてみるとよい
静と動が調和していたら良い
子供たちが楽しめる図書館になってくれるとありがたい
図書館スタッフの専門性を高めたり、人数を増やさないと、司書スタッフの負担が増える
ハード面を新しくしても、ソフト面が充実していないといけない
建物新設は楽しみであるが、建物ありきではなく、サービスを維持できるようにしてから、新しいサービスを手がけてほしい
ROCKが伝わらなかった
各地の図書館例をもっと出してほしかった

心にたっぷりの栄養がほしい
学校の図書館に関わっているが、現在学校の図書館は、第二の保健室のようになっている
図書館のリノベーションを考えたとき、少しのギャップと心のケアにもなれる場所があるとよい
コロナや今年の暑さのような異常事態でも図書館は快適で人が集まる場所
こういった過酷な環境だからこそ、自由度を広げ人々がつながる場になってほしい
図書館の一年から一日の変化を体験し、思い出の場になる空間が好き
子供を本に触れさせたいので、自分で本棚から選ぶ以外にも、読み聞かせ、book トーク、子供向け展示イベントがよい
市民と一緒に考え、つくるプロセスがとても大事でよい会議であった
現状の建築（昭和の雰囲気）そのままにしてほしい
「にぎわい」「つながり」を求めて人が図書館に行くとは思わない
自宅リビングの二つ目の場所として、読むことに特化した公共リビングを新しい図書館に求める
対スマホ⇨これからの図書館がどうあるべきかを考えるのは大切だと思う
もっと気軽に意見を言い合える集まりにして、声を吸い上げてほしい
まちなか図書館に行ってみたい
自分自身がどんな図書館に行きたいのか考えながら、参加できた
未来の図書館がどうなっていくのかわくわくする
県内外図書館の家具の設計に携わってきたので、何かお力になれば幸い
たいへん有意義な会議であった
二回目も楽しみである
静かな環境
図書館らしさ、図書館の良さ、失ってはならないものはしっかりと残さないと図書館でなくなると考える
図書館資料の活用にとどまらない、文化・交流活動の場となるリノベになってほしい
ROCK 司書の話が興味深かった
リフォームではなくリノベーション
頼りになる図書館は頼もしい、図書館で婚活もよい
次回も楽しみ
充実した内容でトークセッションが大変良かった
人と人をつながる図書館にしてほしい

学生時代は、学校の図書館で十分であったため、市立図書館の必要性を感じていなかった
大人になり図書館が身近なものになった
静かな図書館でゆっくりと本を選び、家で読むのが好きなため、騒がしい図書館は前向きに考えることができない
カフェやイベントスペースは、ブースを離すなど別棟として設けてほしい
もっとフリーな楽しい場
管理上の対立が邪魔しない市民のための場
有難い場
天童らしい図書館とはどういう図書館か考え続けていきたい
これからどのような図書館になっていくのか楽しみ
子供と一緒に行ける図書館
学生や定年退職に向けた世代の講習会やイベントを主催してほしい
話題のコミック本を取り入れてほしい
静かな場所と会話のできる場所を空間分けできればよい
「お利口さんな図書館からの脱却」をし、あそびと冒険を取り入れてほしい
静かな場所と会話のできる場所を空間分けできればよい
市民参加型のこのような企画はとても良い
大林さんの話は目からウロコ
新しい図書館への様々な思いをうかがえて、わくわくする会であった
大変面白く拝聴できた
今後も考えを出し合えるようにしてほしい
図書館という概念にとらわれずに
八文字屋など書店とのコラボも検討
ICTの上手な取り組み
漫画を含む蔵書の充実
閲覧の机はいたるところに必要
閲覧した本と同じ本を買いたい場合に、端末から購入手続きが可能にしてほしい
カフェ、FF レストラン、雑貨ショップを併設
有料の子供の遊び場を設ける
無料駐車場を広くしてほしい

(2) デザイン会議 vol.2

ア ポストイット

実施日：12月3日（日）

実施方法：参加者にポストイットを配布し、記入後回収。

回答数：92枚

居場所
コワーキングスペースの改善をして頂きたい。
例えば、交流ができる、対話ができる場所など。館内にカフェがあり、それと共存できるスペースであってほしい
非定期でも館内にてワークショップができるような時間と空間があっても良いのでは...
来る客が変わった。図書を借りずに、学生たちも多くなった、勉強しにくる。目的がなくとも入れる空間
おにぎりワークショップができる場所にしてほしい
カフェください
一人部屋のような空間
子供が遊べるスペースを作り、大人がゆっくりできる
温泉と図書館、足湯に入りながら
マンスリーなどでリースペースにカフェなど入れる
中二階使えると面白い
児童館のようないつでも立ち寄れる空間づくりがしたい。本を読むことだけが目的ではなく、様々な目的を持ち、また目的を探ることができるような図書館が欲しい
ゆったり座れるスペース、ソファ、ハンモックなどを置く
くつをぬぎたい、くつろげる
今の図書館の良さ(木の温もり、温かみ、ソファなどくつろぎやすさ)は残して欲しい。外側の緑地スペース、美術館、公園などを見直して楽しく集える場所にしてほしい
いろいろな場所(床が掘り込まれて一人くつろいでいる絵、空中に小さな部屋が作られていてくつろいでいる絵)
表現活動の充実→3Dプリンターや大型プリンターなどを設置、作業所的な場所
図書館での宿泊をしたい(徹夜作業的な)
パーティをしたい
自分の作品を展示したい

図書館は、その人にとっての癒しの空間なので、館内だけではなく、周りの環境も整備する必要があるのでは...
子供と一緒に一日過ごせる場所。お昼ご飯もカフェとかで食べたい。一食作るの手抜きしたい
コワーキングを使っています。便利なので残してください
敷地全体を屋根に本がある公園に
図書館に居場所を作るには、たくさんの付加価値を作る必要がありそう。ショッピングモールでふらっと本屋に寄るような感じで図書館があると行きやすい
多様性・インクルーシブ
水か飲み物を飲む場所(休憩場)を作れば、お金がなくてもコミュニケーションの場になるかもしれない
レコードサロンを図書館内に設ける。1万枚以上のレコードがあるはず
禁止マークが多いと勉強する、本を読むみたいな目的の限られたところになってしまう
図書館は人・ものが集まりつながっていく広場のような機能が持てるのではないかと改めて思いました。公園のような誰もが入れる場所であってほしい
外国人も楽しめるような空間に
図書館らしさをなくす。
寛容＝理由なくいても居場所。公共施設ではそんなに場所はない
施設側は許容する
利用者(マジョリティー)は許容してくれるか？
お酒が飲める。図書館とか楽しいかも。昼と夜で顔が変わる
マルシェ
年代によって利用方法が異なる(世代)
本に囲まれて寝たい・・・！
図書館で寝る
寝る
「みんとしょ」コーディネーター賛成
「つながる図書館」「つなぐ図書館」賛成
市民と企業のマッチングの場、賛成(商工会議所と協力)
いろいろな施設の混ざり合いを求める事業者と自分の行動の自由をつなげること

をしたいのかと思いました
年代・世代別の興味があることが違う、それぞれの世代に刺さる空間の共存、ごちゃごちゃしててそれでいて整然
カフェでお茶
禁止がない図書館は難しいと思っていましたが、実践している図書館多いのですね！
カフェ
歴史・学習
小中高生のラジオ局を作るとか、テレビ局(地元の)毎日配信する
小中高生が自分の特技、趣味、取り組んだことの発信をできるスペース
つながり・はみ出す
図書館のファンクラブを作り定期的なイベントや広報誌などを配信する
カフェで出すお菓子は絵本の中に出てくるもの
児童遊戯施設と合体
美術館、市役所、中央公園とのつながりや一体感も欲しい
前回の vol.1 に引き続き、やはり「つながり」がポイントです。
音楽録音ブースがあったら面白い
うちの子供が天童図書館の絵本紙芝居コーナーが大好きなので新しい図書館になっても、大切にしてほしい
誰とでもつながる場所
本・配架
サイン計画も大切!! やってはいけないやっぴいことを伝えるためのサインを考えることが大切(伝え方)
LIBRARY→PUBLIC レフェラルサービス。本の貸し出しだけではなく天童の「人」「知識」を借りられる図書館。街とつながる図書館
作品の展示
市民作品を展示して
文庫本もいいと思う
デジタルサイネージで美術館を紹介

図書館で美術館の企画展や関連図書紹介コーナー
将棋駒コーナー(今は駒の本は少ないのでは?)
箱の中、箱の外、殻をやぶる。一般利用者によるレコメンドボード(おすすめ)勝手にコーディネート者(記入者にはインセンティブを)
本を借りなくても目的がなくてもいい図書館。ここにいても良いよ
椅子がたくさんある
現在音楽を聴く環境がヘッドホン中心になっている。大きなスピーカーで聞く楽しみを図書館で実現したい
スタッフ・司書さん
図書館のイノベーションも大切ですが、そこに働く職員の意識改革も必要なのでは
「ミントしょ」コーディネーター専従化いいね!
ボランティアファンクラブ化賛成。市民が運営に加わる
私自身、石沢さんのように廃校になった小学校を利用してアート活動を地元の子供と行うことを大学時代してきました。図書館においてもワークショップを行うのは楽しい活動だと思います。そのために「ボランティアではない専従スタッフをおく」というコーディネーターの配置は良い案だと共感しました。
天童について
部分的にでいいので天童木工の家具を
天童温泉の足湯や手湯があったら嬉しい
たくさんの方が会場に集まったが..... もっと地元の人に関心を持って欲しい。宣伝?
図書館のコンセプト
今これからくる未来
人の居場所、繋がりを大切に。子供、外国人、誰もが使う。禁止をなくす
目的がなくとも立ち寄れる図書館、是非!
禁止マークのない図書館。市民の意識が問われている
様々な繋がりができる図書館
本を読むだけの空間でなくても良い図書館
いつ行っても自由に過ごせる図書館

「公園のような」ではなく「公園」
目的がなくても行ける場所に是非なってほしい
図書館に行くのは小学生の時に図書館に行くのと同じドキドキワクワクの気持ちになれるようにできれば。図書館は宝の山です、まさに。
ワークショップをしながら作っていく図書館はより具体的に市民の意見が反映されやすいと思いました。

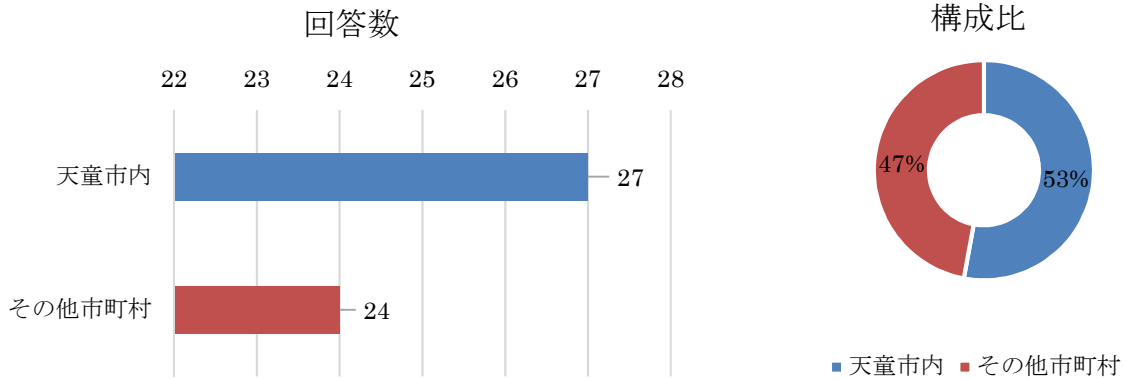
イ 会場アンケート

実施日：12月3日（日）

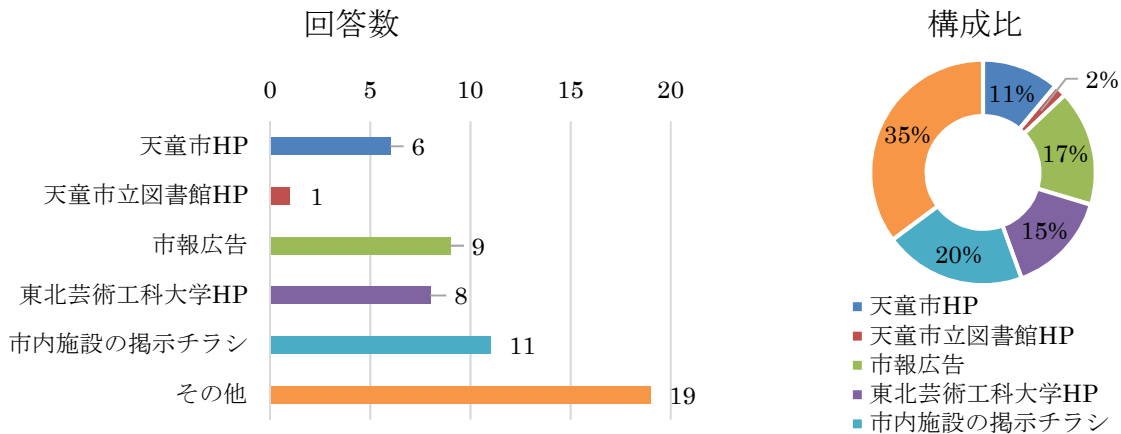
実施方法：参加者にアンケート用紙を配布。退場時回収。

回答数：51

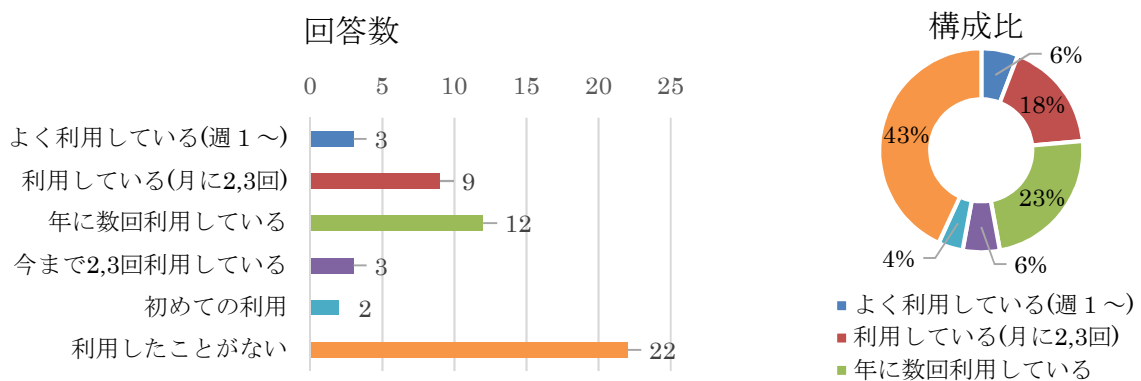
Q1：お住まいは天童市内ですか？



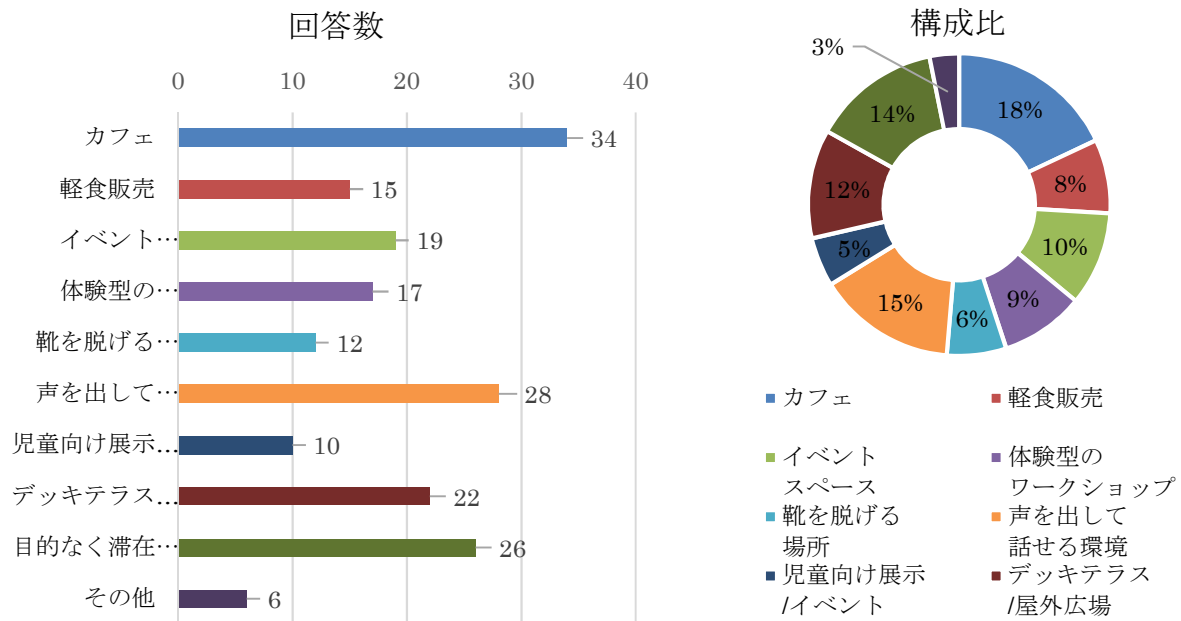
Q2：本日のデザイン会議について、どちらで開催を知りましたか？



Q3：天童市立図書館の利用頻度はどの程度ですか？



Q4：図書館にどのような機能や場所があれば利用したい／利用しやすいですか？



Q5：図書館にどのような機能や場所があれば利用したい／利用しやすいですか？（自由記載）

回 答
Wi-Fi、コンセント、小中高生のワークショップ
今日の題材は、多方面から見たこれからの図書館について色々意見が出て面白かった。次回は本の質の話や書架や椅子の質の話も出来たら面白い
大変勉強になりました。次回も参加したいと思います
リノベーションというのは簡単ですが、実行部隊はこれからやることが山積していると思います。力になれることがあればお声がけください。（瑞穂町図書館 西村）
みんなとしゃべりをいつか作りたくて夢を持っていて、自分や周りの人たちの生活をよくするために学びたい。一人一人が人任せにせず、できることをしようと思ったとき今日のようなたくさんの人の多様な考えを聞ける交流できる場を作り続けてほしい
デザイン会議というネーミングが良かったです。
天童温泉ならではの、足湯で読書。
三浦さんのお話がより具体的でわかりやすかったです。ワークショップをしながら市民と作っていく図書館って良いなあと思いました。

<p>中学生と関わっていると学校以外で勉強できる場所が家かファミレスしかない。ざわざわしている場所があると良い。一人で勉強できる人だけではない。教えあいができる場があると良い。久々に本を読むと集中できなかつたりする。色々な居場所を作ってこころ居場所を変えながら本を読めると楽しみやすい。図書館の課題につながる良い話が聞けた</p>
<p>瑞穂町図書館の禁止事項ではなく、できる事項を明記する取り組みは非常に参考になりました</p>
<p>とても楽しかったです</p>
<p>これからの図書館について考えさせられる良い機会でした</p>
<p>図書館のルールにとらわれない自由な空間で天童図書館が良いサードプレイスになればいいなと感じました</p>
<p>つながるをテーマにいろいろな人、会社、仕事とのつながりを持てる場になってほしい</p>
<p>1、2回目とも参加させていただきましたが、こんな話し合いがなされていること（意見の数々、方向性、要望）を地元民に知らせて、関心を持ってもらうことが必要かなと思います。自分の思いが新図書館に反映されていれば必ず来館し、楽しみ方を増やしていくはずです</p>
<p>人の集まる場。つながりという言葉が大切であると感じた。それぞれの居場所を大切にしていってほしい</p>
<p>外国の人も立ち寄れる場を作るとなるとだいぶプランも変わってくるだろうなと思い、おもしろいなと思いました。また禁止マークが沢山あるからマイナスなイメージがあるという話を聞き、確かにと納得したので、ほかにもそのようなものがないのか、またはこういうのがあるから行きたくなるんだよな、みたいなものがあれば探してみようと思いました</p>
<p>誰からもとがめられない空間づくりにするために例えば禁止マークを作らず、やってもいいなといったパネルを配置することでよい方向へ誘導したり、従来ある図書館のイメージを壊すような仕組みづくりをすることで自由でおもしろい空間づくりができるのだと思いました。また目的がなくてもその人の居場所となる空間を作ることで、多くの年代の人々が訪れる図書館になるのだと感じました</p>
<p>先生たちの話が1回目よりもおもしろかった</p>
<p>また天童に遊びに来ます。</p>
<p>図書館の可能性をすることができました。どのような図書館になるか楽しみです</p>
<p>居場所作りをメインに考えていかなくてはと思った。図書館が待ち合わせの場所になればと感じた</p>

目的がなくともふらっと立ち寄れる図書館良いですね

自分の町（巨理町の図書館）も映画シアターや郷土資料館、イベント、展望台といった様々な要素があるのに、ルールが多く、結果自由度が少ないことを思い出した

「みんなでつくる図書館」ですから、色々な人達とのコラボレーション、企業とのコラボ、ボランティアとしてのファンクラブなどサポート体制も併せて考えていくべきだと思います。できれば音楽を聴けるコーナーもほしいです

公民館のコンセプトと違いはあるのか。同じに思え、ならば現状の公民館は如何。「文化」の空気を吸いたい時に図書館に行く？

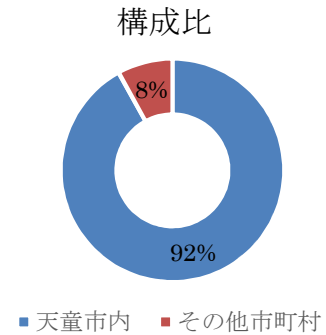
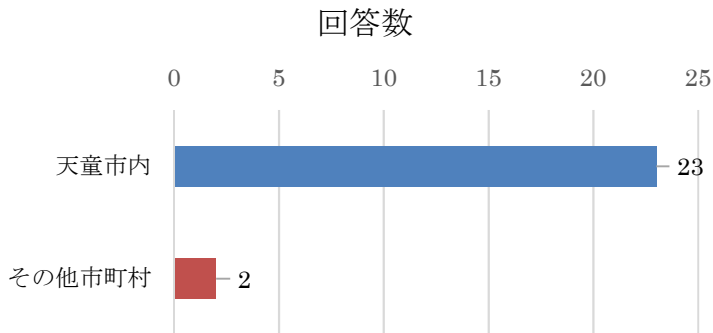
(3) 図書館での子育てアンケート

実施期間： R5/6/10～R5/8/31

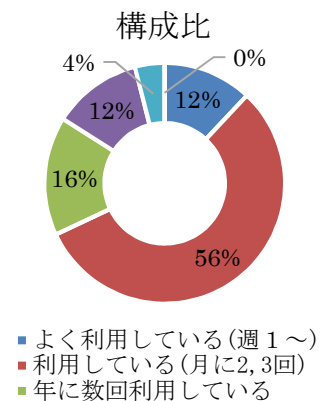
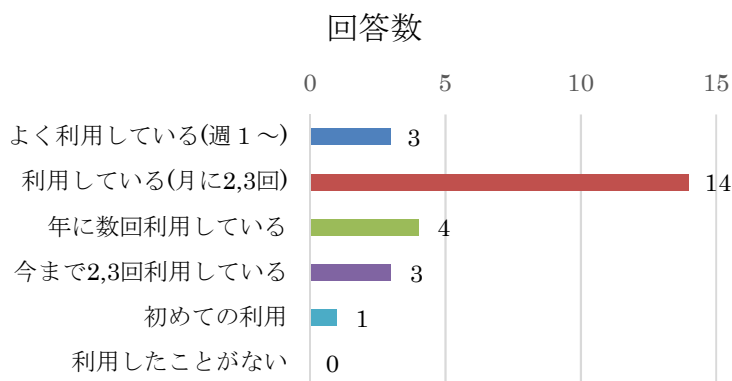
調査対象：市立図書館利用者

回答数：25

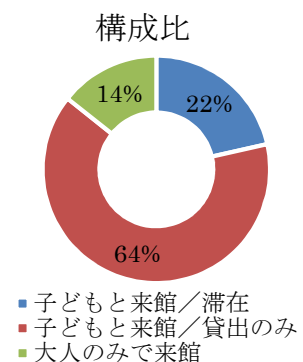
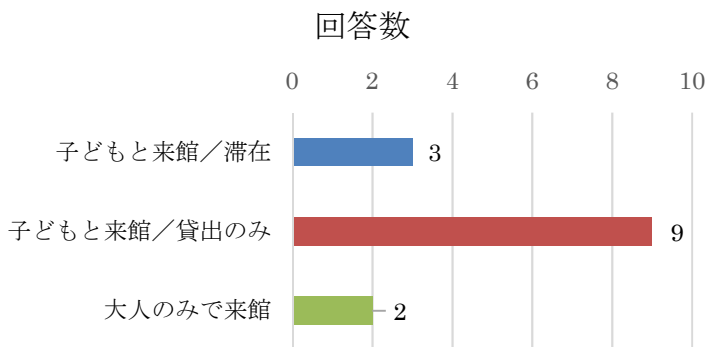
Q1：お住まいは天童市内ですか？



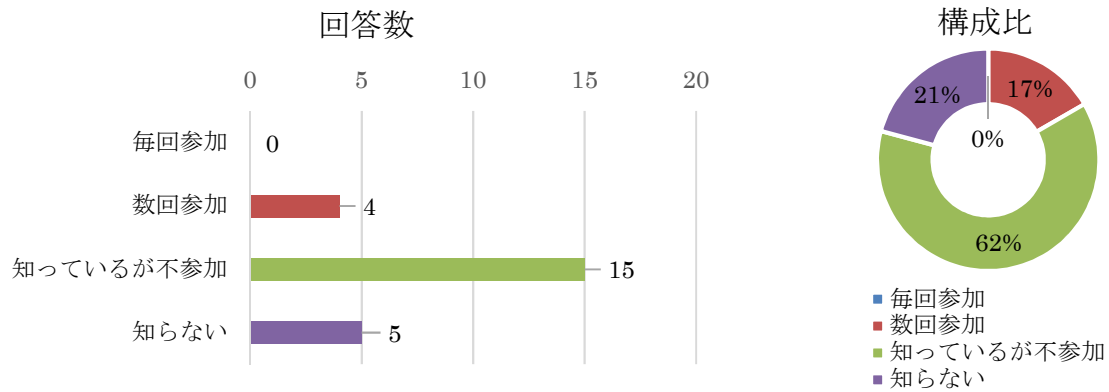
Q2-1：天童市立図書館の利用頻度はどの程度ですか？



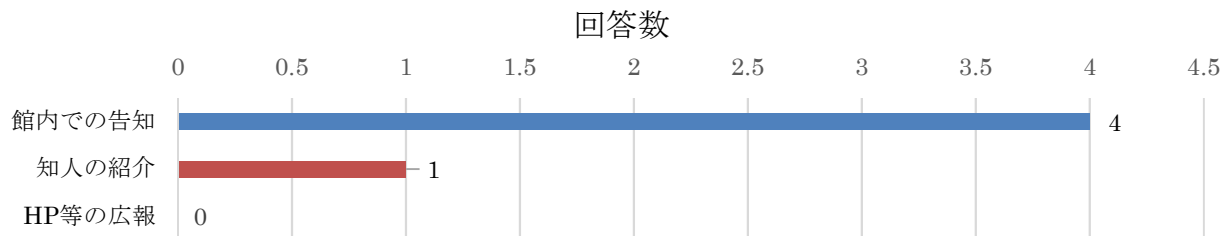
Q2-2：「よく利用している」「利用している」とお答えした方に質問です。主な利用目的は？



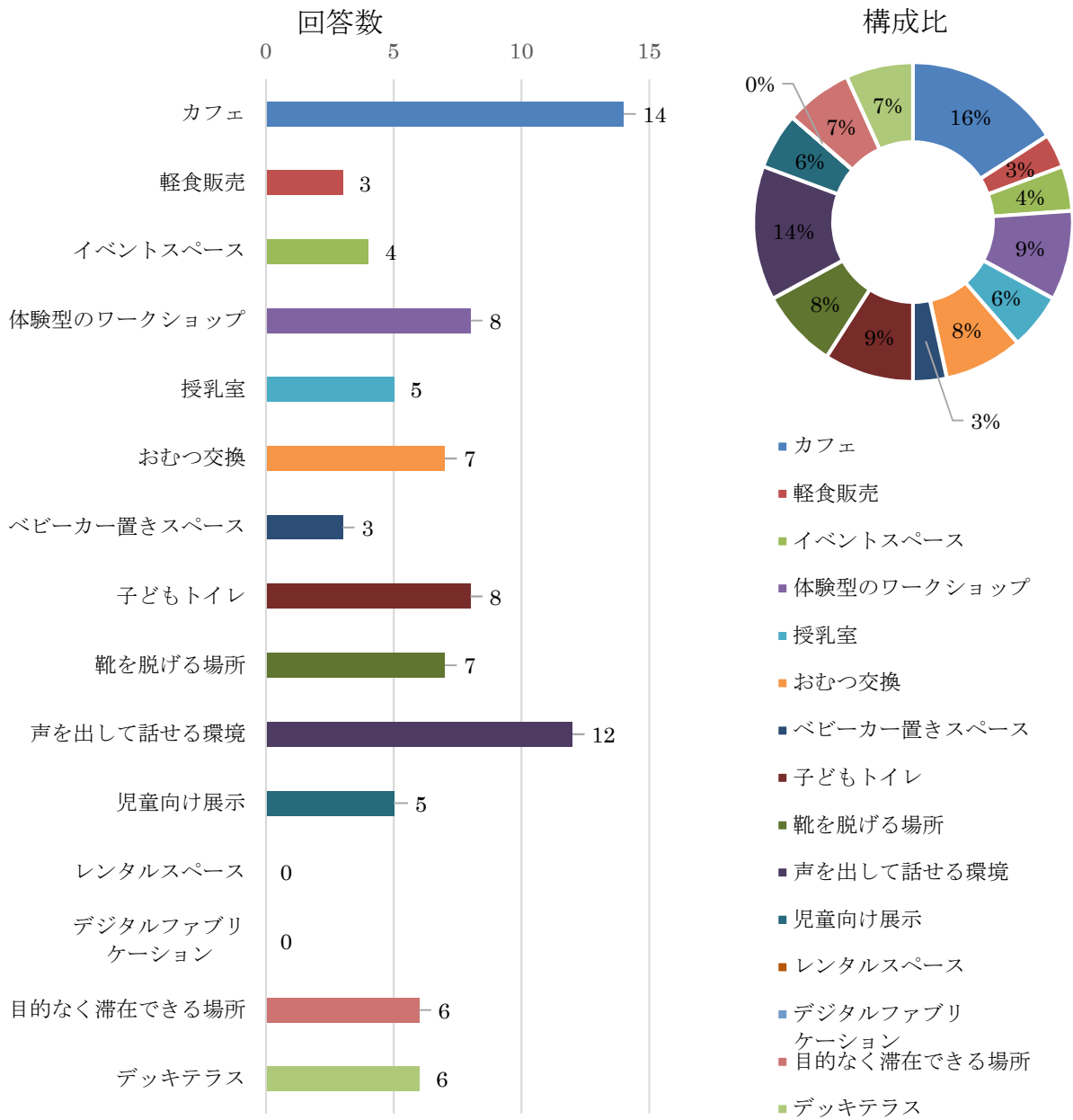
Q3：月に数回開催している、おはなしの会（読み聞かせ）へ参加したことはありますか？



Q3+：参加したことがある方に質問です。どこで読み聞かせのことを知りましたか？



Q4：図書館にどのような機能や場所があれば親子利用したい／利用しやすいですか？



Q5：図書館に限らず親子で施設を利用した際、不安に思うこと／困っていることがあればお聞かせください

回 答
本を借りに行くときに子供を見てほしい
古くさいイメージ
子供が騒ぐと居にくい雰囲気
靴を脱いで子供が過ごせる場所がほしい
ねんねスペースもあると本を読める
とても良い施設です
子供が幼いうちはぐずらないか気になっていたが、意外と図書館ではぐずらなかつた
新しい絵本がなかったりするの、あるとうれしい
本を入れるカートやカゴがあるとうれしい
本をたくさん借りると重いので、館内の移動が楽になると有難い
充分子育て世代に配慮されている
声を大きく出すと大人からの目線で気になりすぐに帰るしかなくて、ほかの施設でも人目を意識してしまう
駐車場が近くにある施設は利用しやすい（県立図書館も駐車場が近くにできて利用しやすくなった）

(4) 図書館魅力度アップアンケート

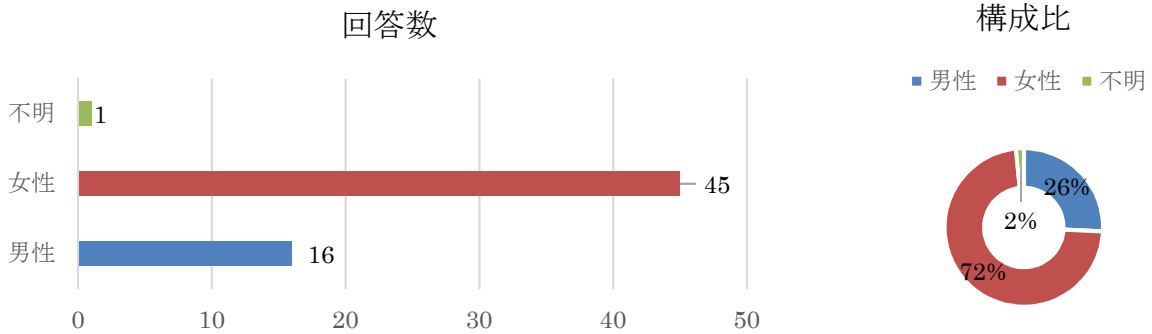
実施期間：R4/7/1～R4/8/31

調査対象：市立図書館利用者

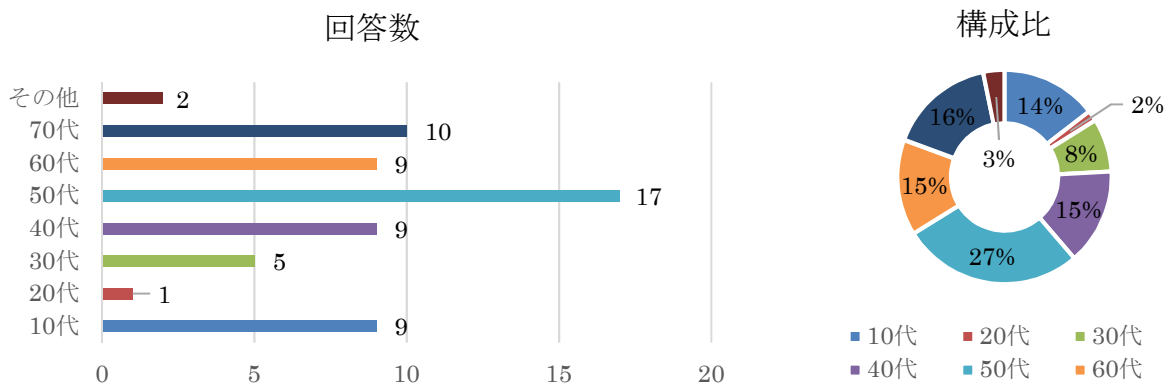
回答数：62

Q1：あなたご自身のことについてお尋ねします。

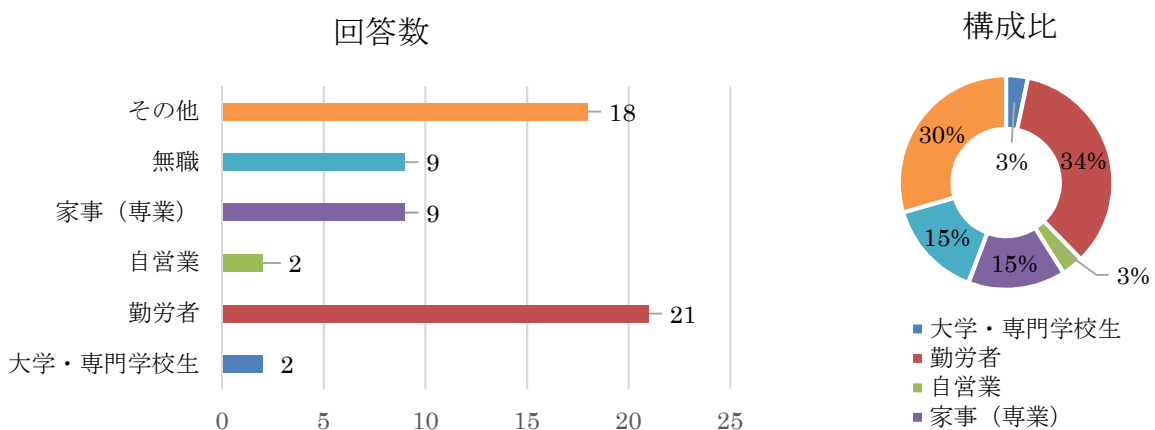
性別



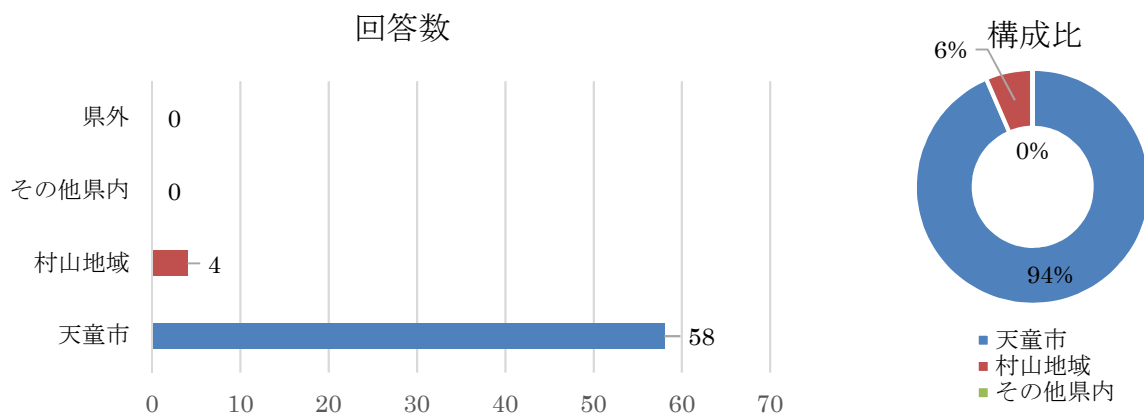
年齢



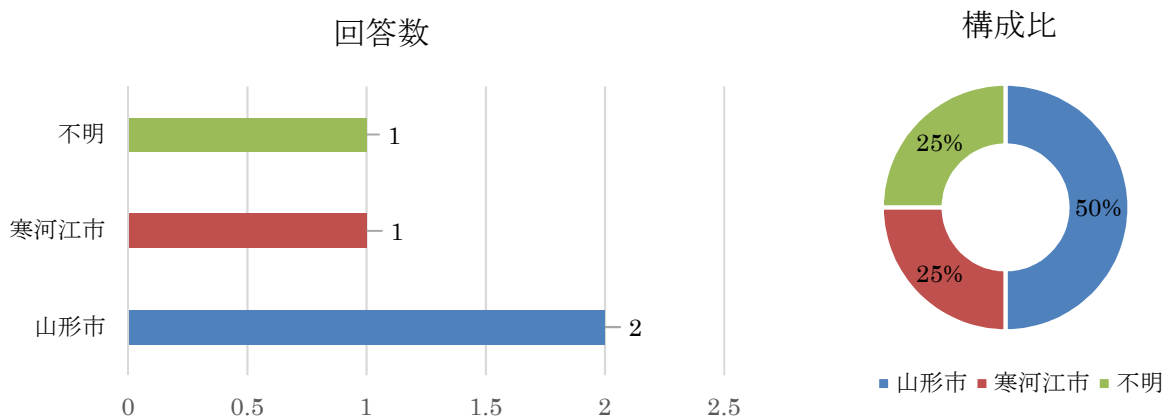
職業



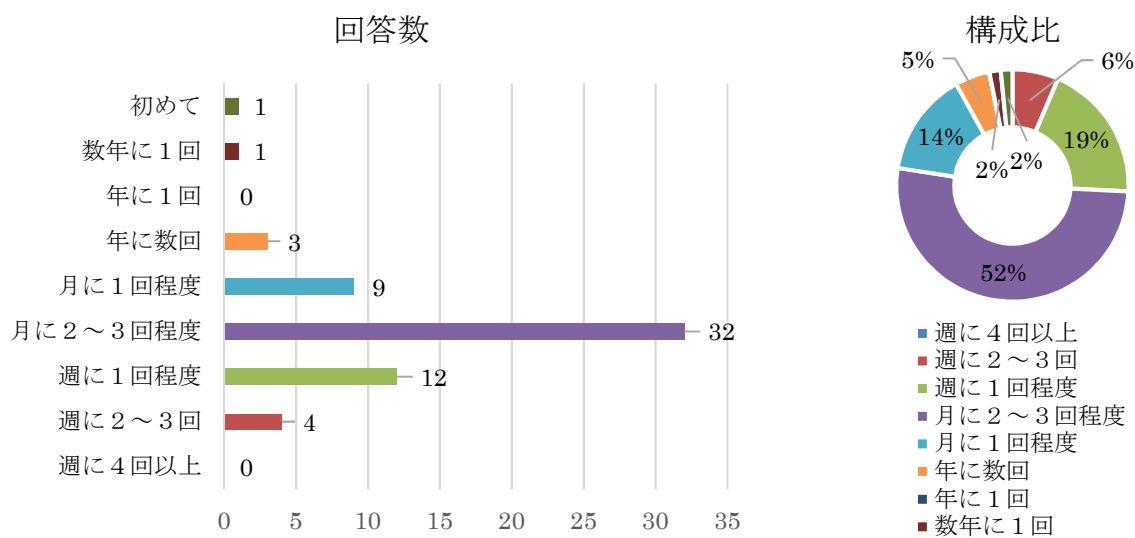
居住地域



村山地域内訳

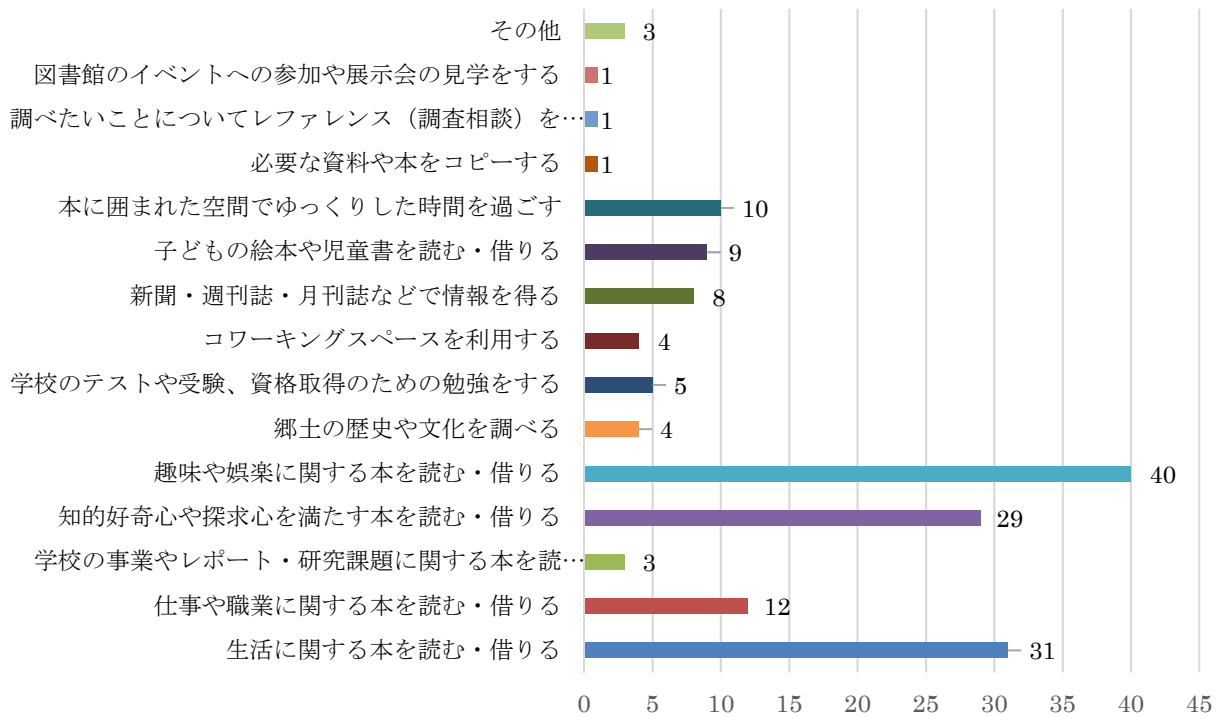


Q2：天童市立図書館をどのくらいの頻度で利用していますか。



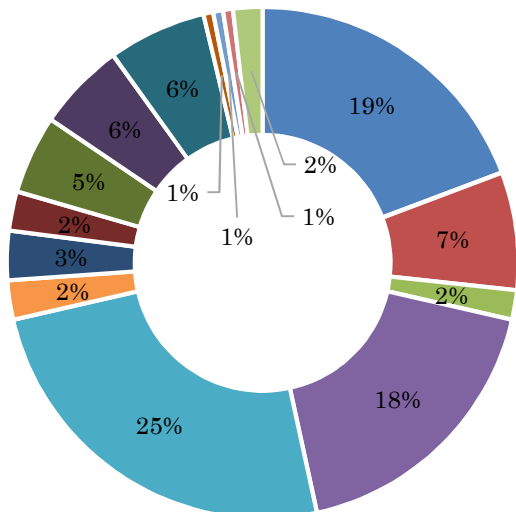
Q3：天童市立図書館の利用目的は何ですか。

回答数



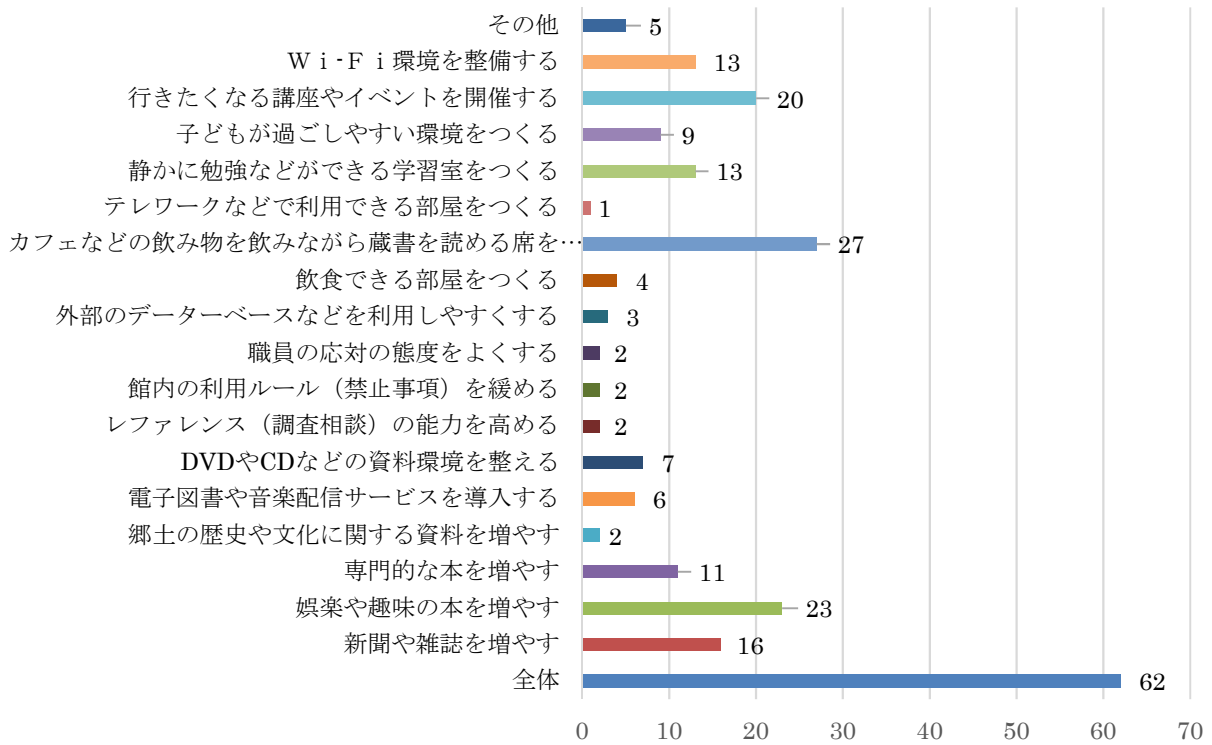
構成比

- 生活に関する本を読む・借りる
- 仕事や職業に関する本を読む・借りる
- 学校の事業やレポート・研究課題に関する本を読む・借りる
- 知的的好奇心や探求心を満たす本を読む・借りる
- 趣味や娯楽に関する本を読む・借りる
- 郷土の歴史や文化を調べる
- 学校のテストや受験、資格取得のための勉強をする
- コワーキングスペースを利用する
- 新聞・週刊誌・月刊誌などで情報を得る
- 子どもの絵本や児童書を読む・借りる
- 本に囲まれた空間でゆっくりした時間を過ごす
- 必要な資料や本をコピーする
- 調べたいことについてレファレンス（調査相談）をする
- 図書館のイベントへの参加や展示会の見学をする
- その他



Q4：天童市立図書館の改善、改修すべき点は何ですか。

回答数



■ 全体

■ 新聞や雑誌を増やす

■ 娯楽や趣味の本を増やす

■ 専門的な本を増やす

■ 郷土の歴史や文化に関する資料を増やす

■ 電子図書や音楽配信サービスを導入する

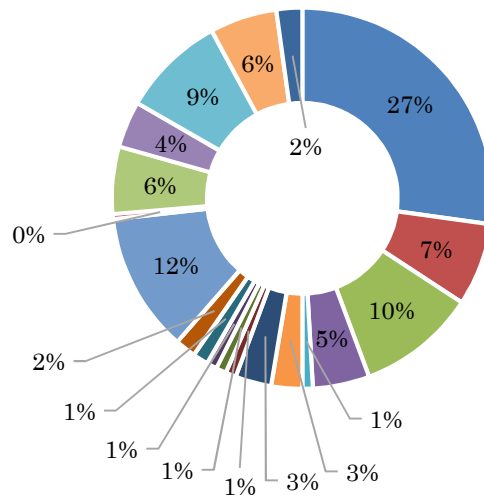
■ DVDやCDなどの資料環境を整える

■ レファレンス（調査相談）の能力を高める

■ 館内の利用ルール（禁止事項）を緩める

■ 職員の対応の態度をよくする

構成比



Q5：天童市立図書館の改善、改修すべき点は何ですか。（自由記載）

回答
読みたい本をすぐに見つけるようにしてほしい。
他の図書館に比べて、休館日も少なくとても利用しやすい。このままで大変満足。 リクエストの本にも対応していただけてありがたい。
例えば、未来志向部門の充実など県内でも「特色のある図書館」などが面白いと思う。
やはり今は冷房設備を早く直してほしい。今後冬場も大変になる。
本の貸し出し冊数を増やしてほしい。 子供（5才）もカードを作れるか？
今のままで十分だが、まなびあテラスのように新しくなれば良い。
インターネットサービスでお気に入り登録予約便利に利用させてもらっている。 お気に入り一覧だが、本の装丁と合わせた表示も良いのだが、スクロールしないと一覧性がないので、書名著者名だけの一覧性のある表示方法も選べるようにできないか。また、著者名順に並べ替えができるとなお便利だと思う。お気に入り登録した本を図書館の書架から自分で選ぶとき著者名順だと検索が容易なため。 （今はお気に入りが登録順のままのため）
子供が過ごす環境と大人を分けてほしい。
子供に障害があり、声を出してしまうことがある。音や声を出しても大丈夫な日を増やしてもらえるととても利用しやすくなる。
職員には、専門的知識を有していただきたい。
職員の方の対応が皆さんとても丁寧で優しく、とても気持ち良く利用できる。ありがたく思っている。
わくわくしたり、おしゃれだったり、隠れて本を読んだり、探しているうちに迷子になったり、不思議なトンネルが外につながっていたり、歩いていたらお花畑に行っていたり、図書館の枠を超えた空間だったら良い。
東根のまなびあテラスは、さまざまなイベントや講座があり、うらやましく思っている。天童市の図書館は建物が古いが、とても良い建物だと思う。しかし、将来的にイオンのそばなど交通の便が良いところに新設すると良いと思っている。
10年近く通っているので、そのコーナーの本がいつも同じでつまらなくなってきた。
新しい本がもっと手に入ると良い。
図書館は、雰囲気も良くスタッフの皆さんも親切でとても素晴らしい。
時々イベントもされていて子供と利用していて、楽しい。
照明を新しくしてほしい。

いつも利用させていただき感謝している。夕方（冬期）照明が暗いように感じる。
市民の税金をもっと図書館に使ってほしい。
東根の図書館にあるようなカートを置いてほしい。
開館時間を週に一度でも良いので、平日 20 時くらいまでにしてほしい。
最近色々な新しい本が入って良い。
できれば東根のように映像 DVD もあると良い。
CD も稀で良いので新しいものを増やしてほしい。ちなみに「君のうた僕のうた」と「青春の歌姫たち」は内容がかぶっている。空のケースは、タイトルが読みづらい。内容がわかりづらいのでコピーして入れておくか、何か工夫してほしい。
全世界の方々に、本に関して後見を述べてほしい。
いつも楽しく利用させていただいています。
視聴覚が弱いと思う。
現在のような本の紹介は続けてください。
たまに、奥に仕舞ってある本を今置いてある本と交換する。
本の福袋で自分では借りない本に出会えてよかったです。
『〇〇さんのこの本がおすすめ！』のように、司書さん・小中高の図書委員の子がおすすめ本を紹介するコーナーがあると、自分の読書の幅が広がるかもしれません。
中 1 の息子が本好きで、息子におすすめされてファンになった物語がたくさんあります。
2 階も使えるようにしてほしい。
トイレなど広くきれいにしてほしい。
図書館は天童市という行政機関の所有物ではなく、天童市民地域住民の持つ財産である。
アンケートの位置付けをもっと詳しく説明すべきではないか。
東京から越して初めて利用させていただいた。第一印象は、「照明が暗い」ということである。全体にもっと明るい図書館にして欲しいと思う。
本の冊数が少ない。
利用者が少ない。高校生などの利用がもっとあっても良いのではないか。
座る席が少ない。
図書館に活力がないと、文化行政に市が重点をかけない。つまりは、未来への投資を蔑ろにしているように思えてならない。
東根のまなびあテラスくらいに、明るくしてほしい。（本が読みづらいため）
充分魅力的な図書館だと思います。

人気作品が半年待ちとか、かなり先にならないと読めない。2冊ある場合もあるが、やはりかなり待たなくてはいけないし、順番が回ってくる頃は残念ながらひどく傷んでいる場合もある。読む人が多い場合3冊準備することはできませんか？最終的に本のリサイクル等で好きな方にもらってもらえる。逆に長い間一度も読めない本というコーナーが先日あったが大変無駄であると思う。その様な本こそ希望制にして読みたい本ができるだけ早く読める図書館にしてほしい。